

令和5年度

酪農緊急パワーアップ事業

(通称：楽酪 GO 事業)

《酪農労働省力化対策事業》

リース方式による機械装置導入の場合  
「事業完了報告」、「支払請求」及び  
「実施状況報告」の手続きについて



#### この手順書について

- ・本手順書は、楽酪 GO 事業の酪農労働省力化対策事業の交付決定以降の手続き（事業完了報告、支払請求、実施状況報告等）を解説したものです。
- ・機械装置の導入及び機械装置の導入と一体的な施設整備後の速やかな補助金の支出をさせていただくため、ご一読の上、書類の作成等をお願いいたします。

- 機械装置の導入・施設整備は2月末までに完了
- 応援会議からの支払請求は3月15日までに提出

令和5年11月

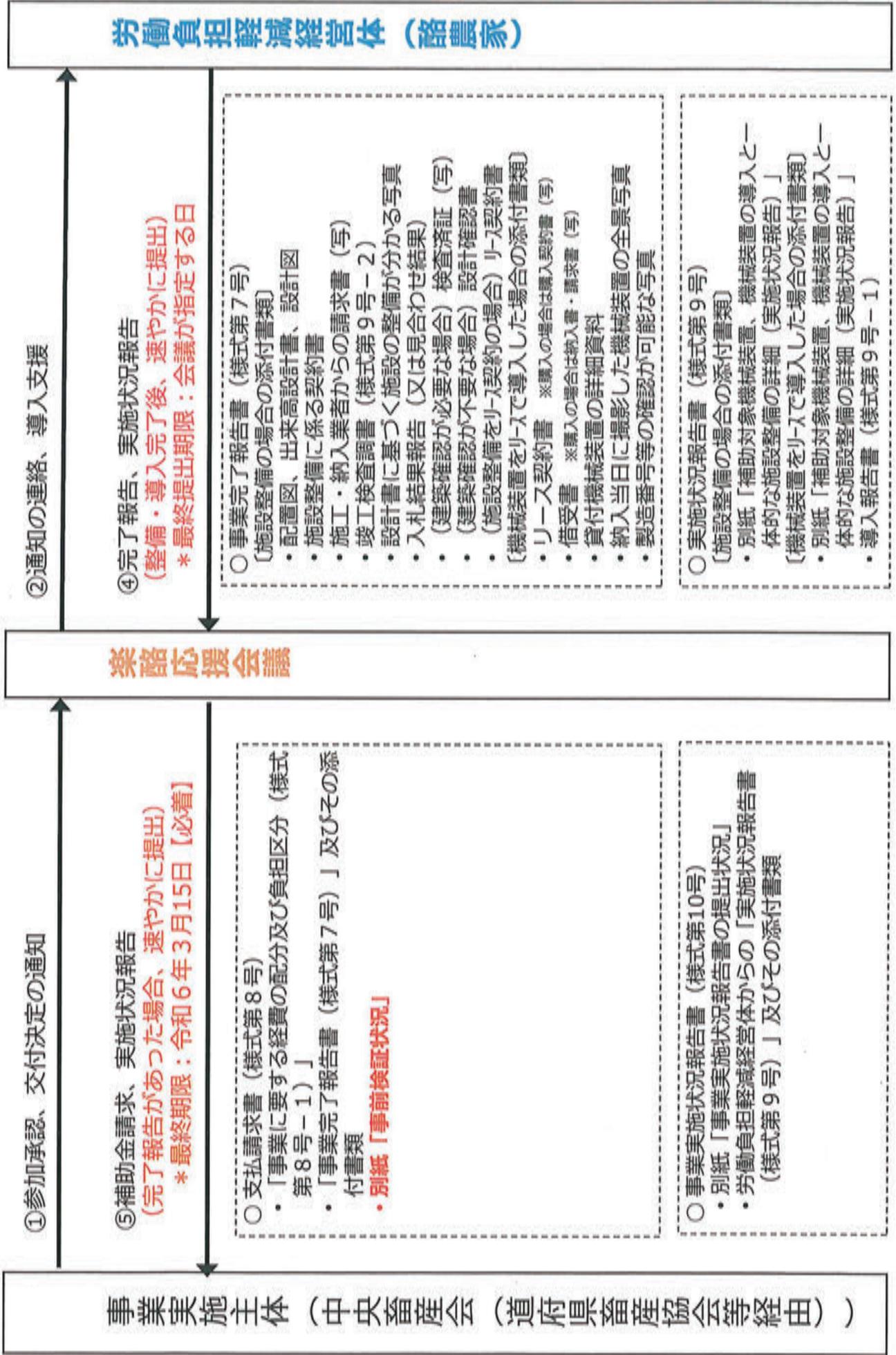
公益社団法人中央畜産会

# 目 次

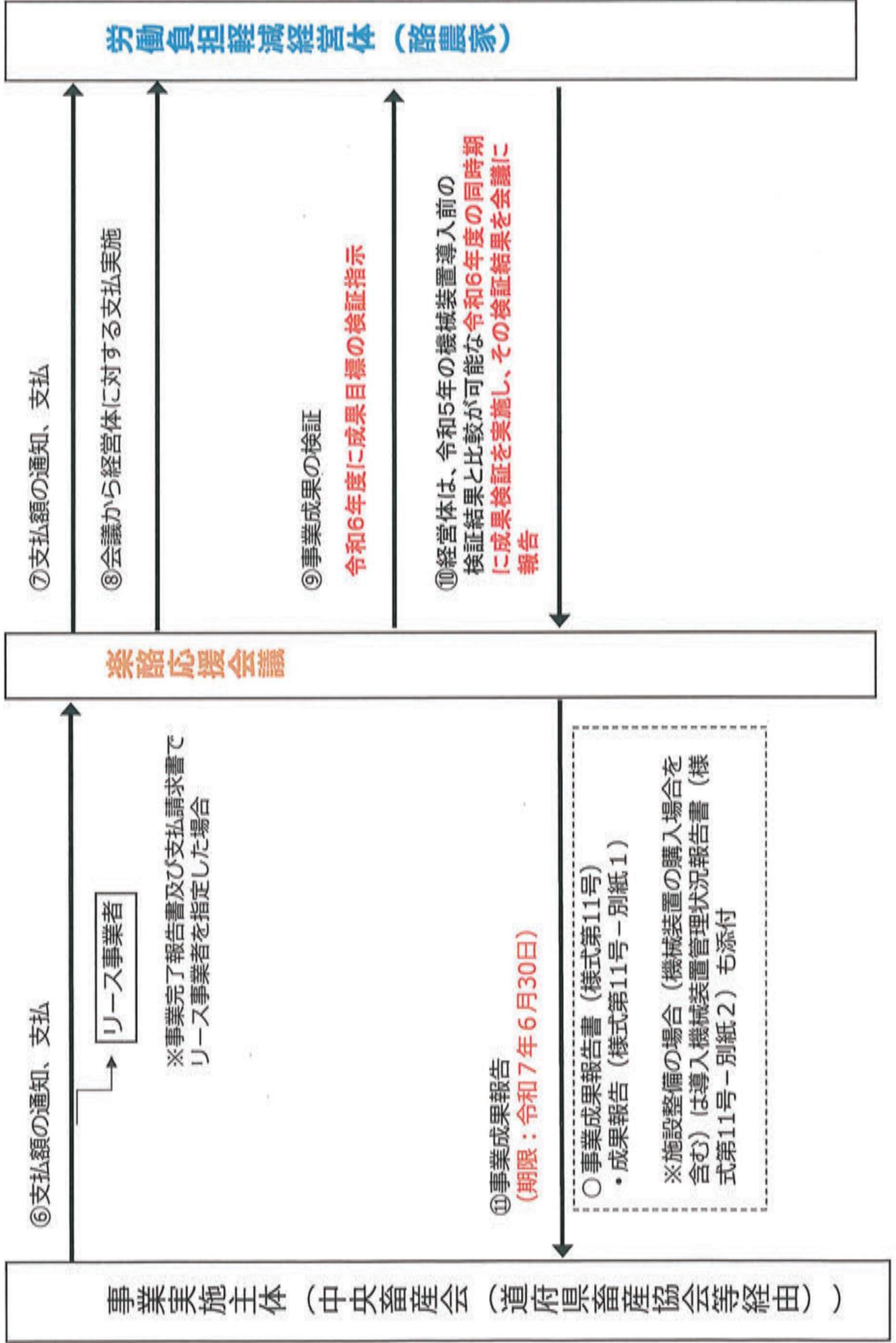
	頁
1 酪農労働省力化対策事業の手続きフロー（導入後）・・・・・・・・・・	1
2 機械装置のリース導入、施設整備の実施について （補助金の交付決定後）・・・・・・・・・・	3
3 「事業完了報告書」、「支払請求書」及び「実施状況報告書」 提出に当たっての留意点・・・・・・・・・・	5
<b>【労働負担軽減経営体向け】</b>	
経営体提出物 1：事業完了報告書（別記様式第 7 号）・・・・・・・・	6
経営体提出物 2：実施状況報告書（別記様式第 9 号）・・・・・・・・	9
（参考 1）「5 年度楽酪 GO 事業貼付用シール」に関する留意点・・	12
（参考 2）本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な付属機器等・・	15
（参考 3）導入した機械装置（本体・付属機器）及び 補改修施設の記録写真の撮影に関する留意点・・・・・・・・	16
（参考 4）事業完了報告に係る写真撮影参考例・・・・・・・・	19
<b>【楽酪応援会議は】</b>	
楽酪応援会議提出物 1：支払請求書（様式第 8 号）・・・・・・・・	38
楽酪応援会議提出物 2：事業実施状況報告書（様式第 10 号）・・	39
4 提出書類様式集・・・・・・・・	41
5 記載例について・・・・・・・・	65
（参考 5）酪農労働省力化対策事業における成果検証の 考え方について・・・・・・・・	88



# 令和5年度楽酪GO事業（酪農労働省力化対策事業）手続きフロー（導入後①～⑤）



令和5年度楽酪GO事業（酪農労働省力化対策事業）手続きフロー（導入後⑥～⑩）



## (補助金の交付決定後)

### 機械装置のリース導入、施設整備の実施について

#### 【楽酪応援会議向け】

中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」を受領した楽酪応援会議は、承認を受けた「事業実施計画」（機械装置がある場合は「事業参加承認通知」も含む）に基づき、労働負担軽減経営体に通知・連絡し機械装置の導入を推進して下さい。

#### 【労働負担軽減経営体向け】

楽酪応援会議より補助金の交付決定を受けた旨の通知・連絡を受けた労働負担軽減経営体は、承認を受けた「事業実施計画」（機械装置がある場合は「事業参加承認通知」も含む）に基づき、リース会社と以下の手順で機械装置の導入、契約等を進めて下さい。

#### 〔機械装置のリース導入〕

##### 手順 1-1：リース契約の締結〔労働負担軽減経営体⇄リース会社〕

- ① 参加申請時に申込書を添付したリース会社とリース契約書を締結して下さい。
- ② 契約日は、中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」または「補助金の変更及び追加交付決定」を通知した日以降でお願いします。
- ③ リース会社と締結した「リース契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

##### 手順 1-2：売買契約の締結〔リース会社⇒機械販売会社等〕

※ リース契約締結後、リース会社から販売会社に対して、事業参加承認を受けた機械装置を発注してもらって下さい。

##### 手順 1-3：機械装置の導入

※ 事業参加承認を受けた機械装置の導入を行って下さい。

##### 手順 1-4：借受書の提出〔労働負担軽減経営体⇒リース会社〕

- ① 労働負担軽減経営体に機械装置が導入完了しましたら、リース会社に対して「借受書」を提出して下さい。
- ② リース会社に対して提出した「借受書」の写し（借受日が記入され、押印してあるもの）を「事業完了報告書」及び「実施状況報告書」の添付書類として提出していただくことになりますので、必ず写しをとるようにして下さい。

## 〔施設整備の実施〕

### 手順 2-1 : 工事請負契約

- ① 契約は、必ず、中央畜産会からの「補助金の交付決定」または「補助金の変更及び追加交付決定」を通知した日以降になります。
- ② 施工業者と締結した「工事請負契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

手順：施設整備と機械装置の導入を一体的にリース契約した場合  
〔労働負担軽減経営体⇔リース会社 間〕  
⇒リース会社と締結した「リース契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

### 手順 2-2 : 施工開始

- ① 工事前に工事箇所の写真を撮影して下さい。
- ② 基礎等で完成後に見えなくなる箇所の工事の様子がわかるよう、工事中にも適宜写真を撮影して下さい。
- ③ 施工業者には、工程表や工事の記録を作成させる等、適切な管理のもと実施させて下さい。

### 手順 2-3 : 工事完了

- ① 工事完了当日に、施行内容がわかるよう写真を撮影して下さい。

### 手順 2-4 : 工事の確認・引き渡し

- ① 施工業者から、出来高設計書、工事完了届を納品させて下さい。
- ② 設計書どおりの工事であることを、楽酪応援会議とともに確認し、「竣工検査調書」を作成して下さい。
- ③ 建築確認が必要な場合は、適宜完了検査を行い、検査済証を取得して下さい。

手順 1-1 から 2-5 までの機械装置の導入が完了しましたら、「事業完了報告書」、「支払請求書」及び「実施状況報告書」の提出して下さい。

## 「事業完了報告書」、「支払請求書」及び「実施状況報告書」の提出に当たっての留意点

書類提出時期：機械装置の導入完了後、速やかに提出。

※令和6年3月15日（中央畜産会）最終受付

### 【労働負担軽減経営体向け】

労働負担軽減経営体で機械装置の導入完了後、以下の手順により速やかに書類を提出していただきます。

#### 【労働負担軽減経営体→楽酪応援会議（とりまとめ）】

※1：労働負担軽減経営体は、機械装置の導入が完了したら、3に掲げる書類を作成し、楽酪応援会議に提出して下さい。

なお、書類の最終提出期限は令和6年3月15日です（ただし、この期日は労働負担軽減経営体が楽酪応援会議に提出する期限ではなく、会議が複数の経営体分をとりまとめて中央畜産会に提出する期限です。実際は経営体の属する会議で期限を切り、対応して下さい）。

2：令和6年3月15日までに、会議を経由して中央畜産会に書類が提出されない場合は、補助金のお支払いができませんのでご注意ください。

3：提出書類は以下の2種類あります。同時に提出をお願いします。

- 事業完了報告書（別記様式第7号）：詳細は経営体提出物1を参照  
(6頁)

- 実施状況報告書（別記様式第9号）：詳細は経営体提出物2を参照  
(9頁)

4：各書類は、楽酪応援会議でとりまとめ、都道府県窓口団体を経由して中央畜産会に提出していただくものです。

5：複数の機械装置を導入する場合には、参加承認のあった補助機械装置ごとに提出することも可能です。

## 経営体提出物 1 : 事業完了報告書関係

様式の内容は、「機械装置の導入内容」と「施設整備の内容」に区分できますので、実施した事業内容により適正に報告書の作成・資料の添付につきましてご留意下さい。

【1】及び【2】の様式、並びに「機械装置の導入内容」と「施設整備の内容」に係るそれぞれ添付書類（1）～（6）を楽酪応援会議へ提出して下さい。

【1】【楽酪GO事業】労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類  
確認表（本手順書の43頁、66～67頁参照）

【2】事業完了報告書（別記様式第7号）  
（本手順書の44頁、68～69頁参照のこと）

### 〔添付書類等〕

#### I 「機械装置の導入内容」に関する添付書類

##### （1）リース契約書（写し）

- ① リース会社と締結したリース契約書の写しを提出して下さい。
- ② 事業参加承認申請書に添付したリース申込書の記載内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。

なお、「リース契約書（写し）」は、次の事項について確認を行いますので、確認できる写しを提出して下さい。

リース契約番号、契約日、契約者の住所・法人名称・氏名、  
機械装置の型式、数量、販売事業者等の名称、リース期間、  
機械装置の取得金額と補助金額、設置場所等

##### （2）借受書（写し）

- ① 導入完了後にリース会社に提出した物件借受書の写しを提出して下さい。
- ② 事業参加承認通知書及び要望調査票（または参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。

##### （3）貸付機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）

- ① （2）で掲げる「借受書」及び経営体提出物2の「実施状況報告書（添付資料を含む）」を提出いただくことで、代用します。
- ② 上記で提出された書類から、事業参加承認通知書及び要望調査票（または参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容の納入が確認できない場合、別途、追加提出を求めることがありますので、留意して下さい。

#### (4) 納入当日に撮影した機械装置の全景写真

#### (5) 製造番号等の確認が可能な写真

提出された複数枚の写真と、要望した計画内容（見積書）、及び参加承認した内容（型式・数量等）、事業実施状況報告の内容（機械装置製造番号等）と照合し、計画どおり機械装置が導入したことを確認しております。この確認ができない場合は、支払ができない場合もあります。

このため、「**導入した機械装置（本体・付属機器）及び補改修施設の記録写真の撮影に関する留意点**」（16頁）を踏まえて、機械の納入当日又は設置した当日に、「**5年度酪農G.O事業貼付用シール**」（12頁参照）を貼り付け、写真撮影を行ってください。

写真の送付に当たっては、導入した全ての機械装置（本体・付属機器）について1台ごとに説明するつもりで必要な枚数の写真を送付して下さい。

## II 「施設整備の内容」に関する添付資料

### (1) 施設の配置図、出来高設計書及び設計図

- ① **配置図**は、牧場施設全体が分かるもので、本事業で整備する施設がわかるように、**赤色**等で指示した図面を提出して下さい。
- ② **出来高設計書**及び**設計図**は、契約事業者から提出されたものをお願いします。  
※事前に契約事業者に対して必要な部数が提出されるような契約になっているかの確認をお願いします。

### (2) 施設整備に係る契約書（写し）

- ① 交付決定後に実施した、入札又は見積合わせの結果、選定した施設整備の施工事業者と締結した契約書の写しを提出して下さい。
- ② 複数業者の場合は、全ての業者分を提出して下さい。

### (3) 施工・納入業者からの請求書（写し）

- ① (2)で契約締結した施工事業者からの請求書の写しを提出して下さい。
- ② 複数業者の場合は、全ての業者分を提出して下さい。

### (4) 竣工検査調書（別記様式第9号-2）

- ① **別記様式第9号-2**に基づき「**竣工検査調書**」を作成し、提出して下さい。（本手順書の51頁、81頁参照）
- ② 作成にあたっては、「畜産振興事業の実施について（平成15年10月1日付け15農機構第48号）別添1の「施設整備事業の事務、補助対象事業費等の取扱い」」に留意し、作成して下さい。

### (5) 設計書に基づく施設の整備であることがわかる写真

提出された複数枚の写真と、要望した計画内容（見積書、設計図等）と照合し、計画どおり施設が補改修等整備したことを確認しております。この確認ができない場合は、支払ができない場合もあります。

このため、「導入した機械装置（本体・付属機器）の導入及び施設補改修の記録写真の撮影に関する留意点」（16頁）を踏まえて、本事業により整備したことが分かるよう、「令和5年度楽酪G0事業（酪農労働省力化対策事業）貼付用シール」（12頁）を可能な場所に貼付し、写真撮影を行ってください。

写真の送付に当たっては、施設の補改修を行ったすべての整備か所を説明するつもりで必要な枚数の写真を送付して下さい。

#### （6）その他必要な書類

- ① 「入札結果報告」又は「見積合わせの結果」を提出して下さい。
- ② 「入札結果報告」は、「畜産振興事業の実施について（平成15年10月1日付け15農機構第48号）」別添1の別記様式第1号に基づき作成して下さい。  
(本手順書の59～61頁参照のこと)
- ③ 当該施設整備に対し、建築確認を行った場合は、「検査済証・確認済証の写し」を提出して下さい。  
また、建築確認が不要な場合は、施工業者等からの「設計確認書」を提出して下さい。  
(本手順書の58頁参照のこと)
- ④ 施設整備と機械装置の導入を一体的にリース契約した場合は、「リース契約書（写し）」および「借受書（写し）」を提出して下さい。

## 経営体提出物 2 : 実施状況報告書関係

様式の内容は、「機械装置の導入内容」と「施設整備の内容」に区分できますので、実施した事業内容により適正に報告書の作成・資料の添付につきましてご留意下さい。

【1】及び【2】の様式、並びに「機械装置の導入内容」と「施設整備の内容」に係るそれぞれ添付書類（1）～（3）を楽酪応援会議へ提出して下さい。

### 【1】実施状況報告書（別記様式第9号）

（本手順書の48～51頁、75～81頁参照のこと）

### 【2】別紙（別記様式第9号添付用）「補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細（実施状況報告）」

別記様式第9号の別紙として「補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細（実施状況報告）」を提出していただきます。

- ① 自走式配餌車など本体のみの導入の場合であっても、省略せず、必ず提出して下さい。
- ② 製造番号のあるものは本体、付属機器に関わらず記載をお願いします。

### 〔添付書類等〕

#### I 「機械装置の導入内容」に関する添付書類

##### （1）リース契約書（写し）及び借受書（写し）

- ① 事業完了報告書に添付し提出いただくことで、この報告書の提出は省略することができます。

##### （2）補助対象機械装置の導入報告書 別記様式第9号-1

- ① 「楽酪応援会議名」は、所属する楽酪応援会議の正式名称を記入。
- ② 「労働負担軽減経営体名」は、事業参加申請書に記載された労働負担軽減経営体名を以下のとおり記入。
  - 個人経営の場合は、「組織名」は空欄とし、「代表者名」に「経営者氏名」を記載。
  - 法人経営の場合は、「組織名」に「法人名称」を、「代表者名」に「代表者氏名」を記載。
- ③ 「対象機械装置の名称」は、事業参加承認通知書の「機械装置の種類」の欄に記載された内容（搾乳ロボット、ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルク自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料）、自動給餌機（濃厚・粗飼料）、自走式配餌車、ほ乳ロボット、ほ乳ロボット（レール式）、パンスクレーパー、敷料散布機のいずれか）ごとに記入。

- ④ 「製造メーカー名」は、事業参加申請書の製造メーカー名であり、販売事業者等ではないので注意して下さい。
- ⑤ 「型式」は、事業参加承認通知書の「規格・規模」記載の型式または型番を記入。
- ⑥ 「機械装置製造番号」は必ず記入（ただし、販売事業者等にも確認し、当該番号が無い機械装置の場合は「なし（販売事業者確認済み）」と記入して下さい）。
- 本体と付属機器で構成する場合は、本体の製造番号を記入すること。
  - ミルカー自動離脱装置のように、複数の台数が納品されるような製品については、すべての製造番号を記入して下さい。
- ⑦ 「販売事業者等の名称」は、販売業者等を記入。
- ⑧ 対象機械装置の「納入年月日」は、動作確認・検収が完了し、導入が完了した年月日を記入して下さい。
- リース契約している機械装置については、原則、物件借受書の検査完了日（リース開始日）、又は検収日を記入して下さい。
- ⑨ 「貸付番号」は、機械装置の「契約番号」、「協会の標示（リース番号）」、又は「貸付記号」等を記入して下さい。
- ⑩ 「所見」欄は、以下のとおり記入。
- 申請内容と相違ないか  
⇒「申請どおり」または「相違なし」と記入。
  - カタログどおりか  
⇒「カタログどおり」と記入。
  - 新品であるか  
⇒「新品」と記入。ただし、中古物件を申請した場合は、「中古」と記入。
  - 試運転の結果どうか  
⇒「良好」と記入
  - 業者から取扱説明を受けたか  
⇒「受けた」と記入。

※ 上記のように記入されていない導入報告書は、補助金を支払できない場合があります。

## Ⅱ 「施設整備の内容」に関する添付資料

### (1) 施設整備に係る契約書（写し）

- ① 事業完了報告書の記の（3）の②の添付資料を提出いただくことで、この報告書の提出は省略することができます。

(2) 竣工検査調書 (別記様式第9号-2)

- ① 事業完了報告書の記の(3)の④の添付資料を提出いただくことで、この報告書の提出は省略することができます。

## (参考1)

### 「5年度楽酪GO事業貼付用シール」の貼り方に関する留意点

#### 1 事業の実施を確認する貼付用シールについて

事業を完了した時は、補助対象の機械装置及び補改修施設に事業で導入したことを証明する貼付用シール（以下「事業ステッカー」という。）を目の付きやすい場所に貼付することになっていることから、次のことに留意して事業ステッカーを貼付してください。

（実施要綱別添5の第6の9の（事業名等の表示）関連）



#### 2 基本的な事業ステッカーの貼付

##### 〔機械装置を導入した場合〕

（1）参加申請書の「補助対象機械の詳細」に記載した「**本体**」及び「**付属機器**」には原則、貼付して下さい。

ただし、本体に一体的に組み込まれている付属機器については本体のみに貼付し、また、装置の集合体（搾乳関係など）については、まとめて1か所に貼付して下さい。

（2）事業ステッカーは、型式や製造番号が記載されている銘板（プレート）と並べて貼付して下さい。

（3）機械装置本体に付属する管理ソフトについては、CD等の媒体によりソフトが提供される場合は、CD等が包装されている箱（ケース）に貼付して下さい。

（4）高所に設置する機械装置等については**設置前**に貼付して下さい。

#### 3 対象機械ごとの事業ステッカーの貼付

##### （1）搾乳ロボット

- ① 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付
- ② 搾乳ロボットに一体的に組み込まれている機械装置は貼付不要
- ③ 2台導入の場合は、それぞれに1枚を貼付

④ ただし、次の付属機器にも貼付

※ 個体識別ゲート、バッファタンク及び予冷装置、フィードステーション、真空ポンプ、自動記録機器等

⑤ 管理ソフトを導入する場合は、CD等の箱（ケース）に貼付

(2) ミルキングパーラー

① ミルキングパーラーは、いくつかの機械装置の集合体なので、それぞれの機械装置には貼付不要。ただし、付属機器がある場合はそれぞれの付属機器に貼付

② ミルキングパーラー（全体）の適当な箇所に1枚貼付

③ ただし、次の付属機器にも貼付

※ 個体識別ゲート、授乳装置、バッファタンク及び予冷装置、フィードステーション、真空ポンプ、自動記録機器等

④ 増設の場合は、増設部分のストール、離脱装置等に台数分貼付

⑤ 管理ソフトを導入する場合は、CD等の箱（ケース）に貼付

(3) 搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）

① 搬送レールは本体となっているので「搬送レール」に1枚貼付

（※ 搬送レールに貼れない場合は、搬送レールの近くの壁等に貼付）

② 搾乳ユニット搬送レールで自動方式の場合は、自動搬送装置（キャリロボなど）1枚ずつ台数分貼付

③ 付属機器として搾乳ユニット、パイプライン等を導入している場合は全体の分として集乳室等の搾乳施設の見やすい場所に1枚貼付

〔例〕自動：レール（1枚）＋搬送装置（台数分）＋その他付属機器一式（1枚）  
手動：レール（1枚）＋その他付属機器一式（1枚）

(4) ミルカー自動離脱装置

① 自動離脱装置は1枚ずつ台数分貼付

② 自動離脱装置のほかに付属機器を導入した場合は、③の「搾乳ユニット搬送レール」と同様に全体の分として集乳室等の搾乳施設の見やすい場所に1枚貼付

(5) 自動給餌機（濃厚飼料タイプ・濃厚・粗飼料タイプ）

① 自動給餌機本体に貼付

② レール走行式の場合はレールにも1枚貼付

③ エレベーター、サイレージストッカー、コンベア等の付属機器にも貼付

④ 管理ソフトを導入する場合は、CD等の箱（ケース）に貼付

(6) ほ乳ロボット（レール式を含む）

① ほ乳ロボット本体に貼付

- ② 2台以上の導入の場合は、1台ごとに1枚を貼付
- ③ カーフレール式の場合は、カーフレール本体に台数分貼付及びレールにも1枚貼付

(8) 自走式配餌車

- ① 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付
- ② 付属機器を導入の場合は、それぞれに1枚を貼付

(9) バーンスクレーパー

- ① スクレーパー本体（羽根の部分）ではなく、ドライブユニットに1枚ずつ台数分貼付
- ② 動作時に剥がれにくい箇所、汚れない箇所に貼付

(10) 敷料散布機

- ① 敷料散布機本体に貼付
- ② レール走行式の場合はレールにも1枚貼付
- ③ エレベーター、ストッカー、コンベア等の付属機器にも貼付

4 補改修した対象施設ごとの事業ステッカーの貼付

- (1) ドア、扉、柵等を設置している場合で、金属製である場合は貼付して下さい。
- (2) 新規に敷設した柱がある場合で、金属製の材質の場合に貼付して下さい。
- (3) 補強材などがある場合で、金属製の材質の場合に貼付して下さい。
- (4) 壁面の工事を行っている場合で、貼付可能な材質がある場合は貼付して下さい。

(参考2)

## 本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な付属機器等

### <搾乳関係機械装置の付属機器>

- 導入する搾乳関係機械装置の能力を発揮させるために必要な付属機器（パイプラインミルクカー、真空ポンプ、受乳装置、乳量データの自動記録装置、飼養管理ソフト）
- 導入する搾乳関係機械装置搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）の設置・稼働に不可欠な簡易な資材（パイプラインミルクカー、配管径をサイズアップしたミルク配管、搾乳ユニットとの自動接続に適合するミルクタップ、レール吊下げ支持部材）
- 搾乳ロボットやミルクパーラーを導入する場合の高度化対応装置（個体識別ゲート、搾乳ロボット専用の予冷装置及びバッファタンク）
- 搾乳ロボットやミルクパーラーを導入する場合の群飼において個体能力を発揮させるための飼料給与装置（フィードステーション等）
- 搾乳関係機械装置の管理ソフト

### <飼料給与関係機械装置の付属機器>

- 自動給餌機（吊下レール式、トロリー式または地上レール式）を導入する場合において、飼料を調製・投入するための付帯装置（サイレージストッカー、サイレージエレベーター、ベルトコンベア、定置式ミキサー）
- 自動給餌機の吊下レール、地上レール、トロリー、吊下レール支持部材
- 自動給餌機や搾乳ロボットの管理ソフト

### (参考3)

## 導入した機械装置（本体・付属機器）及び補改修施設

### の記録写真の撮影に関する留意点

#### 1 事業の完了報告において提出する記録写真について

楽酪G O事業により導入した機械装置及び補改修施設については、事業完了報告において記録写真を提出することになっていますが、記録写真の不備が散見され追加写真の提出のために事業完了報告の確認・審査が遅れ、補助金の支払事務に支障を来すことが発生している状況です。

そのため、記録写真の撮影については、事業完了時における記録写真の撮影の仕方を整理しましたので、次のことに留意して記録写真の撮影を行って、写真の提出をしてください。

#### 2 機械装置の写真撮影

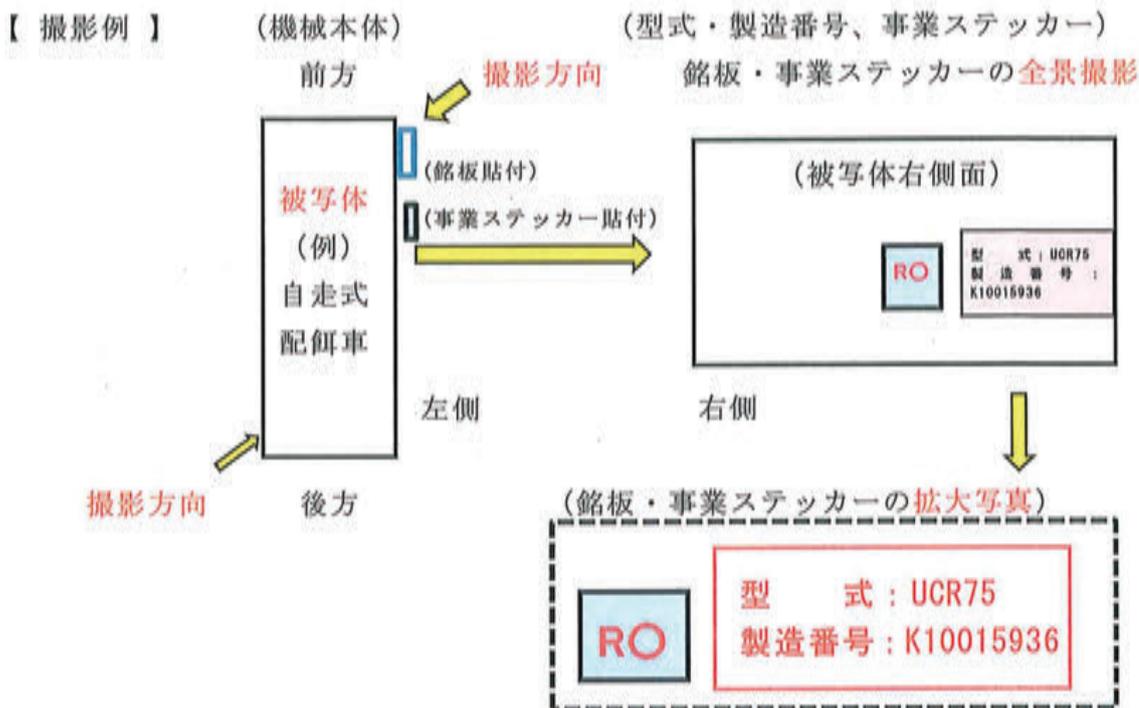
##### (1) 撮影範囲

導入した機械装置の検証写真については、参加申請の別紙「補助対象機械装置の詳細」の記載内容と照合できるよう、機械本体及び付属機器に**事業ステッカーを貼って**撮影します。

※ 事業ステッカーの貼付方法については、「I事業ステッカーの貼り方に関する留意点」を参照し、**付属機器については可能な限り貼り付けて**ください。

##### (2) 撮影方法

- ① 単体で作業ができる機械装置（例：餌寄せロボット、自走式配餌車等）
  - a 機械装置本体の撮影
    - ・ 写真は屋外（屋内は照明を準備）などの明るいところで撮影
    - ・ 写真は**前後左右の四方面から全景**を撮影
    - ・ 四方面撮影が難しい場合は、下図とおりの前後の斜め二方面から撮影
  - b 機械装置の型式・製造番号の銘板（ラベル）及び事業ステッカーの撮影
    - ・ 機械の銘板（ラベル）、事業ステッカーが貼付されている面の全景を撮影
    - ・ 銘板（ラベル）の記載内容が確認できるようクローズアップで撮影
    - ・ **写真はカラーで撮影して、カラーで提出して下さい。（白黒だと室内での写真は、機械装置で判断ができないため、カラーで提出して下さい。）**



② 施設に据え付けられる機械装置（搾乳ロボット、搾乳ユニット搬送レーン等）施設に据え付けられる機械装置については、施設に据え付けられた状態で前項①の撮影方法を基本として撮影し、機械本体とともに導入した全ての付属機器も同様に撮影してください。

a 複数セットの機械装置の撮影（搾乳ユニット搬送レーン＋ミルク自動離脱装置）

- 施設に据え付けられた搾乳ユニット搬送レーンのミルク自動離脱装置の検証写真は、導入したミルク自動離脱装置の全ての台数が確認できるように**寄せて全景を撮影**

b 機械装置本体と一体的に導入される複数の付属機器（タグ等）及びシステムソフトの撮影（発情発見装置等）

- 施設内に点在して設置される機械装置等については、機械装置等の設置前（納品時）にそれぞれの機械装置（付属機器を含む）等を撮影
- システムに付帯するタグ及びネックバンド等については、製品を一つずつ撮影するのではなく、全ての製品を並べた状態又は梱包箱のふたを開いた状態で納品数量が確認できるよう一括撮影するとともに、製品の一部を抽出して型式・製造番号が確認できる写真を撮影（**※併せて型式・製造番号等の一覧を作成して提出**）
- 機械装置を制御するシステムソフトが附帯している場合、CD-ROMと説明書等を並べた状態の写真
- システムソフトの現物がなくパソコン等にインストールされているものは、システムを立ち上げたディスプレイ画面の写真

### 3 補改修施設の写真撮影（注意点）

#### （1）補改修前の撮影

- ① 施設全体の外部及び内部の全景を撮影。
- ② 回収該当箇所を撮影。

#### （2）補改修工事中の撮影

- ① 工種ごとに補改修前の状況を撮影。
- ② 工種ごとに補改修作業中の状況を撮影。
- ③ 工種ごとに補改修後の状況を撮影。

#### （3）補改修後の撮影

- ① 施設全体の外部及び内部の全景を撮影。
- ② 回収該当箇所を撮影。

(参考4)

事業完了報告に係る写真撮影参考例

(1) 搾乳関係機械装置	
・ 搾乳ロボット (フリーストール用) . . . . .	20
・ ミルキングパーラー . . . . .	21
・ 搾乳ユニット搬送レール (ミルカー自動離脱装置付き) . . .	22
(2) 飼料給与関係機械装置	
・ 自動給餌機 (吊下げ式) . . . . .	24
・ ほ乳ロボット (据置式) . . . . .	25
・ ほ乳ロボット (レール式) . . . . .	26
・ 自走式配餌車 . . . . .	28
(3) 家畜飼養管理機械装置	
・ バーンスクレーパー . . . . .	29
・ 敷料散布機 . . . . .	31
(4) 施設整備 . . . . .	33

・ 写真撮影の留意点はP16～18を、  
台紙はP62を参照してください

# 【搾乳ロボット（フリーストール用）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇事業）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 搾乳ロボット（型式：VMS V300 製造番号：JH-802474860001-TU）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（左側）】



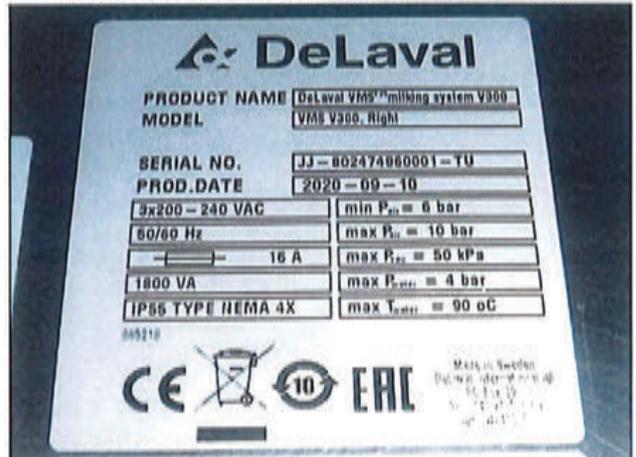
【本体（右側）】



【本体（搾乳ボックス）】



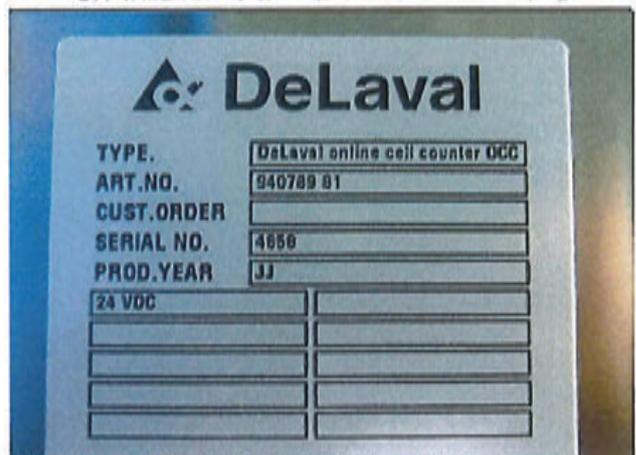
【本体製造番号：JH-802474860001-TU】



【体細胞測定装置】



【体細胞測定装置（製造番号：4858）】



※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

# 【ミルクパーラー】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： ミルクパーラー（型式：PMH76SJ 製造番号：810001）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（授乳装置 PMH76SJ）】



【本体製造番号：810001】



【本体（パーラーストール）】

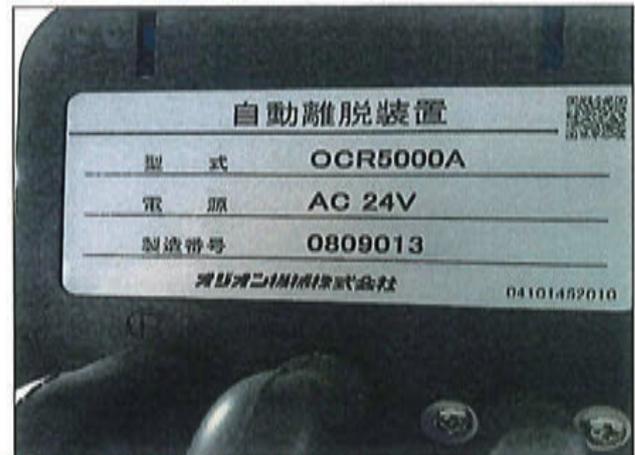


【ユニットキャリー (UCR75)】  
(製造番号：808005)



【自動離脱装置ユニット (OCR5000A) 8台】  
(導入台数が確認できるように寄せて撮影)

【自動離脱装置製造番号：0809013】  
(導入台数分の写真を貼付)



※【 】内は何の写真か記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例：【自走式配自転車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【搾乳ユニット（ミルクカー自動離脱装置付き）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 搾乳ユニット搬送レール手動（型式：UCA30A 製造番号：K19800009）

ミルクカー自動離脱装置（型式：MMD500 G2 製造番号：別紙一覧のとおり）

【搾乳ユニット搬送レール手動（UCA30A）】



【ミルクカー自動離脱装置（MMD500 G）8台】

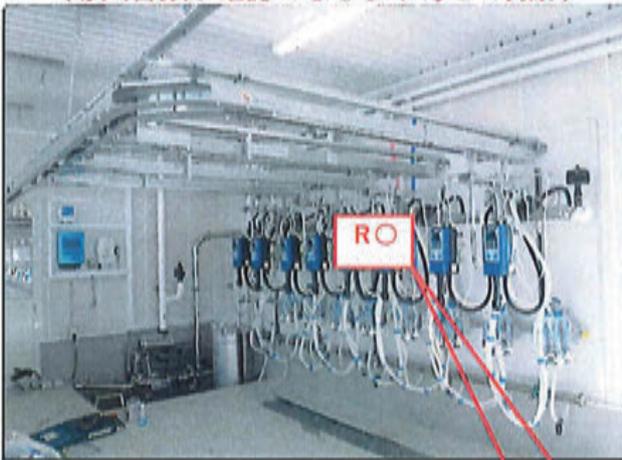
（導入台数が確認できるように寄せて撮影）

【搬送レール（製造番号：K19800009）】



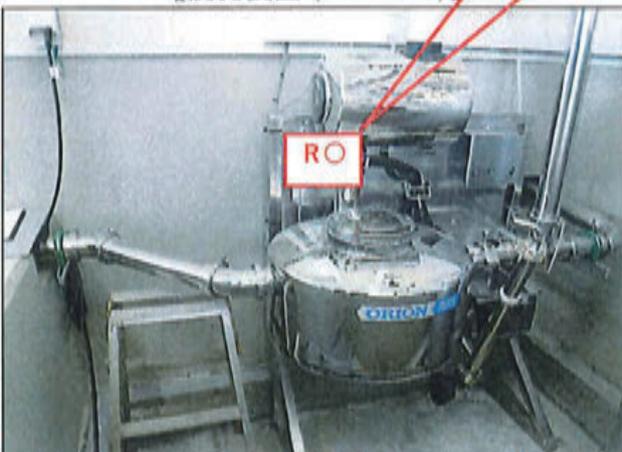
【自動離脱装置製造番号：12010005015011】

（導入台数分の写真を貼付）



見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【授乳装置（PHM76S）】



【授乳装置製造番号：K20X00002】



※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【搾乳ユニット（ミルカー自動離脱装置付き）】

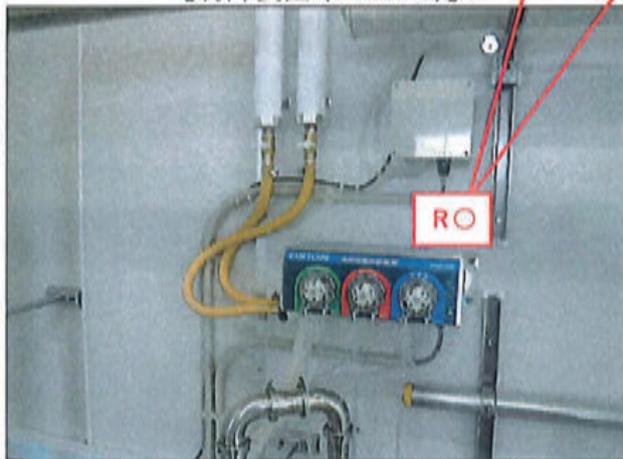
経営体名：株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名：搾乳ユニット搬送レール手動（型式：UCA30A 製造番号：K19800009）

ミルカー自動離脱装置（型式：MMD500 G2 製造番号：別紙一覧のとおり）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【制御装置 (CAS250)】



【制御装置 (CAS250)】



【洗浄装置制御盤】



【洗浄用電源装置】



【真空発生装置 (OK-18HB)】



【真空発生装置製造番号：K2090DD18】



※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式記自転車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【自動給餌機（吊下げ式）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

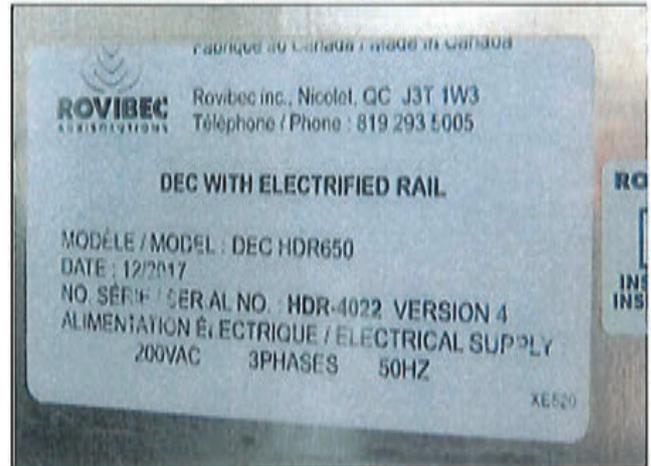
機械装置名： 自動給餌機（型式：DEC-HDR 製造番号：HDR-4022）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【自動給餌機（DEC-HDR）】



【自動給餌機（製造番号：HDR-4022）】



【コントロールボックス】



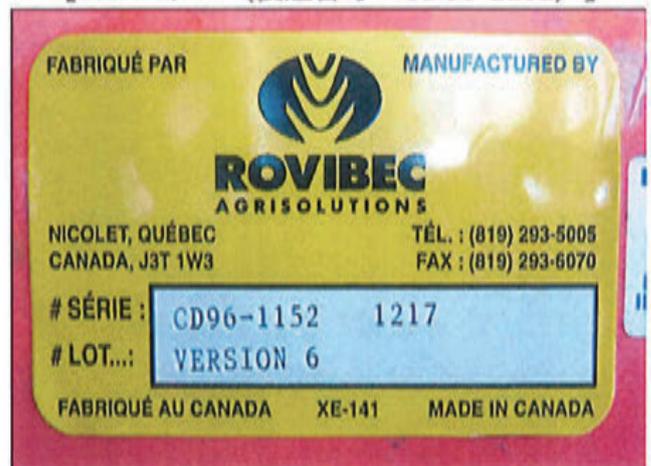
【自動給餌機・コンベアー設置状況】



【コンベアー】



【コンベアー（製造番号：CD96-1152）】



※【 】内は何の写りが記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 24造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【ほ乳ロボット（据置式）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：カーフイーダー・バリオスマート 製造番号：10019883）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【ほ乳ロボット（カーフイーダー・バリオスマート）】



【ほ乳ロボット（製造番号：10019883）】



【ほ乳ステーション】



【ティート洗浄装置】



【ネックバンド 20本】別途個体識別コード一覧表作成 【識別タグ（個体識別番号）】

(導入本数が確認できる全景写真)

(他に導入個数が確認できる全景写真)



※【 】内は何の写真が記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例：【自走式記自転車(正面)】、【型式：EF2630 25製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【ほ乳ロボット（レール式）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：G2パウダー 製造番号：10019134）

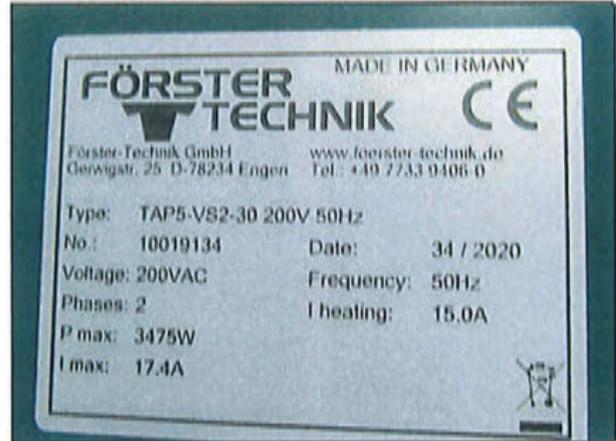
カーフレール（型式：CRS2-1F1-WH 製造番号：10018607）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

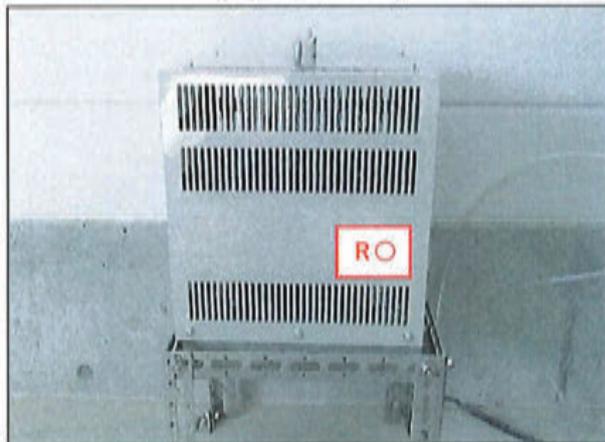
【ほ乳ロボット(G2パウダー)】



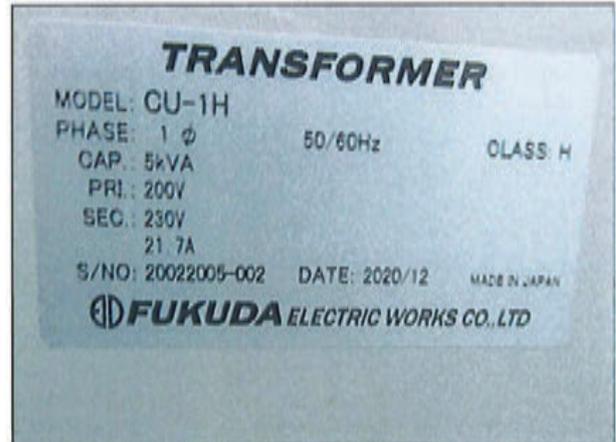
【ほ乳ロボット(製造番号：10019134)】



【変圧トランス】



【変圧トランス（製品仕様ラベル）】



【ホースヒーター（CRS2）】



【ホースヒーター（製品仕様ラベル）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【ほ乳ロボット（レール式）】

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：G2パウダー 製造番号：10019134）

カーフレール（型式：CRS2-1F1-WH 製造番号：10018607）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【カーフレール(CRS2-1F1)】



【カーフレール(製造番号：10018607)】



【ガイドレール】



【ガイドレールコネクター】



【ネックバンド 20本】

別途個体識別コード一覧表作成

【識別タグ】

(導入本数が確認できる全景写真)

(他に導入個数が確認できる全景写真)



※【 】内は何の写真が記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【自走式配餌車】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 自走式配餌車（型式：EF2630 製造番号：100234）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（運転席）】



【本体正面】



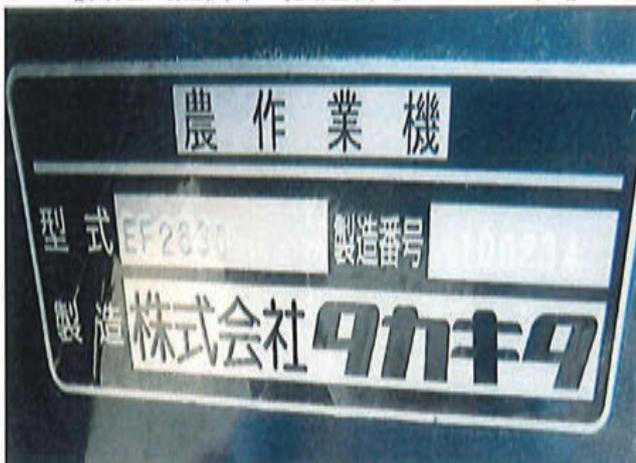
【本体右側】



【本体左側】



【自走式配餌車（製造番号：100234）】



【           】



※【   】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）  
例：【自走式配餌車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【バースクレーパー】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： バースクレーパー（型式：AKD 製造番号：31626）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【ドライブユニット (AKD)】



【ドライブユニット (製造番号：31626)】



【モーター】



【モーター (製造番号：795-077)】



【コーナーローラ・チェーン配置】



【コーナーローラ・チェーン配置】



※【 】内は何の写真か記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

# 【バーススクレーパー】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： バーススクレーパー（型式：AKD 製造番号：31626）

【スクレッパーブレード (W=3500)】



【スクレッパーブレード (W=2400)】



【チェーンスクレッパー操作盤】



【操作盤キャビネット (製造番号：6L0907)】



【           】



写真張付け位置

【           】



写真張付け位置

※【           】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）  
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【敷料散布機】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 敷料散布機（型式：BSMA08 製造番号：020Z00003）

見やすい箇所に事業ステッカー  
を貼付して全景写真を撮影  
(可能な限り銘板付近に貼付)

【敷料散布機（BSMA08）】



【敷料散布機（BSMA08）】



【敷料散布機（製造番号：020Z00003）】



【サイレージエレベーター】



【サイレージエレベーター】



【サイレージエレベーター（製造番号：020Z00003）】



※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

## 【敷料散布機】

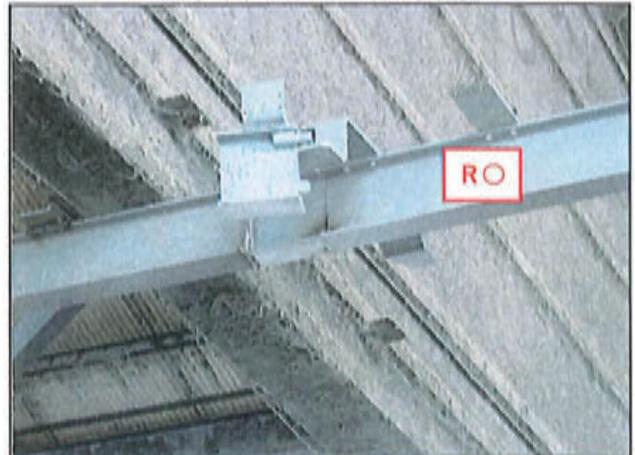
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 敷料散布機（型式：BSMA08 製造番号：020Z00003）

【ドグ (40個)】



【ガイドレール切替装置】



【敷料散布機ガイドレール (H鋼)】



【敷料散布機ガイドレール (H鋼)】



【敷料散布機制御盤】



【敷料散布機制御盤 (内部)】



※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）  
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

事業名：令和〇年度楽路GO事業（労働負担軽減事業）

応援会議名：〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名：株式会社〇〇〇〇農場

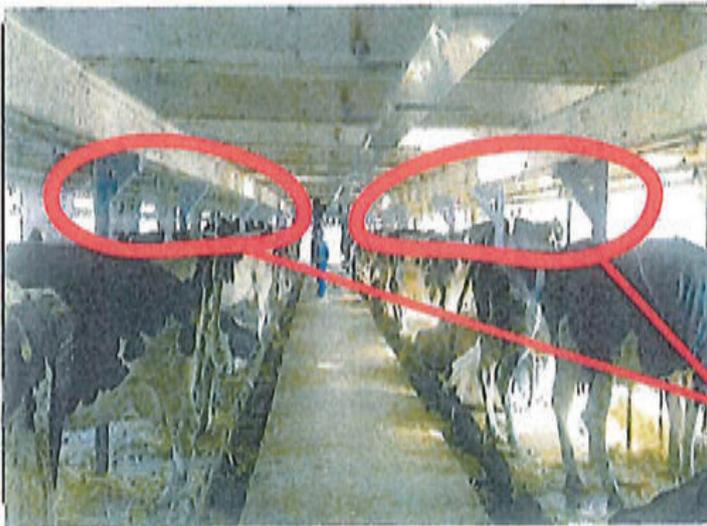
工事名：搾乳牛舎内部改修工事



No. 1

全体

施工前



No. 2

全体

工事完了

補強箇所(主柱)



No. 1

内部・外部工事

ロボット導入口開口部施工

施工前



No. 2

内部・外部工事

ロボット導入口開口部施工

施工状況

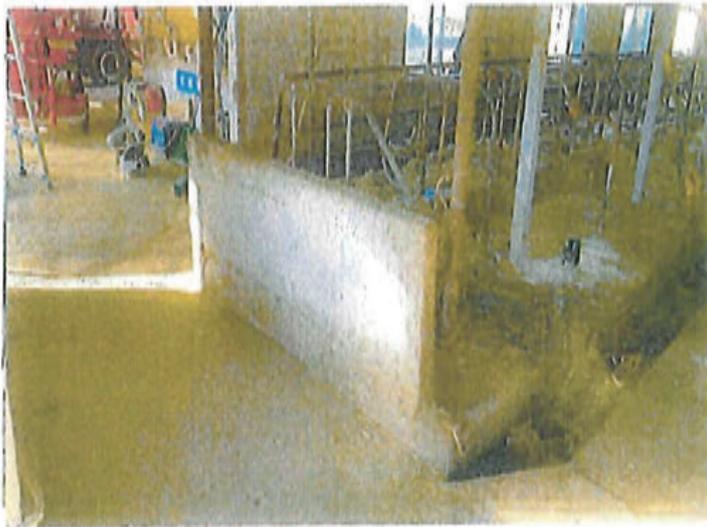


No. 3

内部・外部工事

ロボット導入口開口部施工

工事完了



No. 1

内部・外部工事

牛床エンドコンクリート立上り等解体

施工前



No. 2

内部・外部工事

牛床エンドコンクリート立上り等解体

施工状況



No. 3

内部・外部工事

牛床エンドコンクリート立上り等解体

工事完了



No. 1

内部・外部工事

牛床エンドコンクリート立上り等解体

施工前



No. 2

内部・外部工事

牛床エンドコンクリート立上り等解体

施工状況

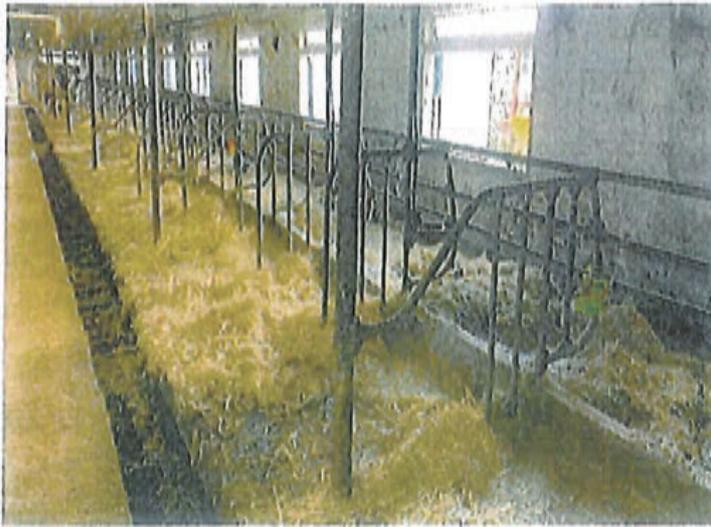


No. 3

内部・外部工事

牛床エンドコンクリート立上り等解体

工事完了



No. 1

内部・外部工事

牛床支柱・移設

施工前

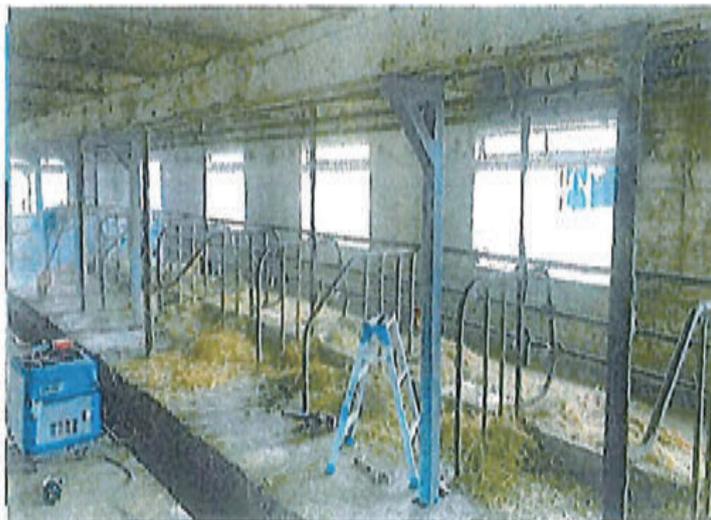


No. 2

内部・外部工事

牛床支柱・移設

施工状況



No. 3

内部・外部工事

牛床支柱・移設

工事完了

## 【楽酪応援会議向け】

### 【楽酪応援会議→（都道府県窓口団体経由）中央畜産会】

- ※1：楽酪応援会議は、労働負担軽減経営体が機械装置の導入を完了し、事業完了報告書及び実施状況報告書の提出を受けたら、すみやかに3に掲げるとりまとめ書類を作成し、都道府県窓口団体を経由して中央畜産会に提出して下さい。
- 2：書類の最終提出期限は令和6年3月15日です。これに遅れた場合は、補助金のお支払いができないことがありますのでご注意ください。
- 3：とりまとめ書類は以下の2種類あります。同時に提出をお願いします。
- 支払請求書（別記様式第8号）：詳細は楽酪応援会議提出物1を参照
  - 事業実施状況報告（別記様式第10号）：詳細は楽酪応援会議提出物2を参照
- 4：労働負担軽減経営体ごと、あるいは、承認のあった補助対象機械装置ごとに提出することも可能です。書類の揃ったものから適宜ご提出下さい。

### 楽酪応援会議提出物1：支払請求書関係

【1】及び【2】の様式、並びに添付書類（1）～（3）を加えて都道府県窓口団体を経由し中央畜産会へ提出して下さい。

#### 【1】支払請求書（別記様式第8号）

（本手順書の45～47頁、70～74頁参照のこと）

#### 【2】別紙1（別記様式第8号添付用）「支払請求書の提出内訳」

別記様式第8号の別紙1として「支払請求書の提出内訳」も提出して下さい。

#### 〔添付書類等〕

##### （1）その他交付決定者が必要とする書類

⇒別紙2（別記様式第8号添付用）「事前検証状況」の提出

※別記様式第8号の別紙として「事前検証状況」を提出して下さい。

なお、「事前検証状況」の提出がない場合は、労働時間の検証の確認ができないので、支払要件の確認ができませんので、「事前検証状況」は必ず添付し、支払請求書を提出して下さい。

##### （2）労働負担軽減経営体から報告のあった事業完了報告書

※労働負担軽減経営体から報告された「事業完了報告書（別記様式第7号、添付資料を含む）」を提出して下さい。

##### （3）その他中央畜産会が求める書類

⇒「楽酪応援会議の預金通帳の写し」の提出

※1 補助金額は、楽酪応援会議に対して支払うこととなります。

- 2 確実な支払いを行うため、支払請求書で記載した楽酪応援会議の預金通帳の写しを提出して下さい。
- 3 預金通帳の写しは、振込先金融機関名、支店名、預金の種別、口座番号、預金名義のわかるページの写しをお願いします。
- 4 預金名義は、支払請求を行った応援会議名が記載されたものであることが必須です。

ただし、施設整備について機械装置と一体的なリース契約を行った場合において、支払請求書の振込先にリース事業者に支払う旨を記載して請求した場合は、本会よりリース事業者に対して直接支払いを行いますので不要です（実施要領第11の3の（3）に基づく）。

## 楽酪応援会議提出物2：事業実施状況報告書関係

【1】及び【2】の様式、並びに添付書類（1）の書類を加えて都道府県窓口団体を経由し中央畜産会へ提出して下さい。

### 【1】事業実施状況報告書（別記様式第10号）

（本手順書の52～53頁、82～84頁参照のこと）

### 【2】別紙（別記様式第10号添付用）「事業実施状況報告書の提出状況」

別記様式第10号の別紙として「事業実施状況報告書の提出状況」も提出して下さい。

### 〔添付書類等〕

#### （1）労働負担軽減経営体より提出のあった「実施状況報告書」

※ 労働負担軽減経営体から提出された「実施状況報告書（別記様式第9号、添付資料を含む）」を提出して下さい。



## 提出書類様式集 目次

	頁
【楽酪GO事業】労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表	リース方式での機械装置を導入した場合 4 2 購入方式での機械装置を導入した場合 4 3
別記様式第 7 号	事業完了報告書 4 4
別記様式第 8 号	支払請求書 4 5
別紙 1 (別記様式第 8 号添付用)	支払請求書の提出状況 4 6
別紙 2 (別記様式第 8 号添付用)	事前検証状況 4 7
別記様式第 9 号	実施状況報告書 4 8
別紙 (別記様式第 9 号添付用)	補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細 (実施状況報告書) 4 9
別記様式第 9 号- 1	対象機械装置の導入報告書 5 0
別記様式第 9 号- 2	竣工検査調査 5 1
別記様式第 1 0 号	事業実施状況報告書 5 2
別紙 (別記様式第 1 0 号添付用)	事業実施状況報告書の提出状況 5 3
別記様式第 1 1 号	事業成果報告書 5 4
別記様式第 1 1 号- 別紙 1	成果報告 5 5
別記様式第 1 1 号- 別紙 2	導入管理状況報告 (購入方式) 5 6
別記様式 (参考 1)	財産管理台帳 5 7
(参考 2)	設計確認書 5 8
(参考 3)	入札結果報告・着工届 5 9
(参考 4)	見積結果報告・着工届 6 1
	写真用台紙様式例 6 2

楽酪応援会議に提出のあった月日	年 月 日
<b>【楽酪GO事業】労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表</b>	

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

リース方式での機械装置を導入した場合

No	提出書類	確認欄
1	事業完了報告書 (別記様式第7号)	<input type="checkbox"/>
	(1)リース方式により機械装置を導入した場合	
2	①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)	<input type="checkbox"/>
3	②貸付機械装置に係る借受証(写し)	<input type="checkbox"/>
4	③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料 (機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)	No.18の提出で添付不要 <input type="checkbox"/>
5	④納入当日の撮影した機械装置の全景写真	<input type="checkbox"/>
6	⑤製造番号等の確認が可能な写真	<input type="checkbox"/>
	(2)施設整備を実施した場合	
7	①施設の配置図	<input type="checkbox"/>
8	②出来高設計書	<input type="checkbox"/>
9	③設計図(平面図・立面図・工事箇所詳細図など)	<input type="checkbox"/>
10	④施設整備に係る契約書等(写し)	<input type="checkbox"/>
11	⑤施行・納入業者からの請求書(写し)	<input type="checkbox"/>
12	⑥竣工検査調書(別記様式第9号-2)(写し)	<input type="checkbox"/>
13	⑦設計書に基づく施設の整備であることが分かる写真 (工事前、工事中及び完了検査当日に撮影した写真等)	<input type="checkbox"/>
14	⑧建築確認及び確認検査の実施を証する書類(確認済書・検査済書) 又は施工業者等からの設計確認書	<input type="checkbox"/>
15	⑨(機械導入と施設整備をセットでリース契約をした場合) リース契約書(写し)・借受書(写し)	<input type="checkbox"/>
16	⑩入札又は三者見積合わせの結果報告書、及び三者の見積書(写し)	<input type="checkbox"/>
17	実施状況報告書 (別記様式第9号)	<input type="checkbox"/>
	(1)リース方式による機械導入の場合	
18	①別紙 補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)	(別記様式第9号添付用) <input type="checkbox"/>
19	②貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)、 及び借受証(写し)	No.2及びNo.3の提出で添付 不要 <input type="checkbox"/>
20	③対象機械装置の導入報告書	(別記様式第9号-1) <input type="checkbox"/>
	(2)機械装置導入と一体的な施設整備の場合	
21	①施設整備に係る契約書等(写し)	No.10の提出で添付不要 <input type="checkbox"/>
22	②竣工検査調書	(別記様式第9号-2) <input type="checkbox"/>
23	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか	<input type="checkbox"/>
24	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った	<input type="checkbox"/>
	機械装置名	契約日

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、完了報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)	
--------------------------	--

楽酪応援会議に提出のあった月日

年 月 日

【楽酪GO事業】労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

購入方式での機械装置を導入した場合

No	提出書類		確認欄
1	事業完了報告書 (別記様式第7号)		<input type="checkbox"/>
	(1) 購入方式により機械装置を導入した場合		
2	①対象機械装置に係る購入契約書(写し)		<input type="checkbox"/>
3	②対象機械装置に係る納入書(写し)、請求書(写し)		<input type="checkbox"/>
4	③対象機械装置の詳細が分かる資料 (機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)	No.17の提出で添付不要	<input type="checkbox"/>
5	④納入当日の撮影した機械装置の全景写真		<input type="checkbox"/>
6	⑤製造番号等の確認が可能な写真		<input type="checkbox"/>
	(2) 施設整備を実施した場合		
7	①施設の配置図		<input type="checkbox"/>
8	②出来高設計書		<input type="checkbox"/>
9	③設計図(平面図・立面図・工事箇所詳細図など)		<input type="checkbox"/>
10	④施設整備に係る契約書等(写し)		<input type="checkbox"/>
11	⑤施行・納入業者からの請求書(写し)		<input type="checkbox"/>
12	⑥竣工検査調書(別記様式第9号-2)		<input type="checkbox"/>
13	⑦設計書に基づく施設の整備であることが分かる写真 (工事前、工事中及び完了検査当日に撮影した写真等)		<input type="checkbox"/>
14	⑧建築確認及び確認検査の実施を証する書類(確認済書・検査済書) 、又は施工業者等からの設計確認書		<input type="checkbox"/>
15	⑨入札又は三者見積合わせの結果報告書、及び三者の見積書(写し)		<input type="checkbox"/>
16	実施状況報告書 (別記様式第9号)		<input type="checkbox"/>
	(1) 購入方式による機械導入の場合		
17	①別紙 補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)	(別記様式第9号添付用)	<input type="checkbox"/>
18	②対象機械装置に係る購入契約書(写し)	No.2の提出で添付不要	<input type="checkbox"/>
19	③対象機械装置の導入報告書	(別記様式第9号-1)	<input type="checkbox"/>
	(2) 機械装置導入と一体的な施設整備の場合		
20	①施設整備に係る契約書等(写し)	No.10の提出で添付不要	<input type="checkbox"/>
21	②竣工検査調書	(別記様式第9号-2)	<input type="checkbox"/>
22	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか		<input type="checkbox"/>
23	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った		<input type="checkbox"/>
	機械装置名	契約日	<input type="checkbox"/>

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、完了報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)

楽酪応援会議代表 殿

所在地  
法人名称又は氏名  
(法人の場合 代表者名)

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 事業完了報告書

令和〇年度において、令和 年 月 日付け 第 号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)実施要領第11の3の(1)の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

1 事業の内容

対象機械装置名 又は施設整備の内容	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
計					

2 添付資料

- (1) リース方式により機械装置を導入した場合
- ①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)
  - ②貸付対象機械装置に係る借受書(写し)
  - ③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)
  - ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
  - ⑤製造番号等の確認が可能な写真
- (2) 購入方式により機械装置を導入した場合
- ①対象機械装置に係る購入に係る購入契約書(写し)
  - ②対象機械装置に係る購入に係る納入書(写し)、請求書(写し)
  - ③対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、型式及び台数)
  - ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
  - ⑤製造番号等の確認が可能な写真
- (3) 施設整備を実施した場合
- ①施設の配置図、出来高設計書及び設計図
  - ②施設整備に係る契約書等(写し)
  - ③施行・納入業者からの請求書(写し)
  - ④竣工検査調書(別記様式第9号-2)
  - ⑤設計書に基づく施設の整備であることがわかる写真
  - ⑥その他必要な資料

3 その他

(1) 請求額 金 円

(2) 振込先金融機関名  
支店名  
預金の種別  
口座番号  
預金の名義

※リース方式の場合においては、直接リース事業者に支払うことを認める。  
その場合、振込先について、リース事業者の指定する振込先を記載する。

番 号  
年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森 山 裕 殿

(楽酪応援会議)

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 支払請求書

令和〇年度において、令和 年 月 日付け 第 号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)実施要領第11の3の(2)の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

1 請求額 金 円

区 分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入及び機械装置と一体的な施設整備事業				
計				

2 振込先金融機関名

支店名

預金の種別

口座番号

預金の名義

- (注) 1 計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正(変更前を上段括弧で二段書)した当該資料ページを添付して提出すること。
- 2 前記により、計画承認の事業内容から変更して交付申請書を提出する場合は、本文中の「令和 年 月 日付け 第 号で計画承認があった事業計画内容のとおり事業を実施したいので」を「令和 年 月 日付け 第 号で計画承認通知があった事業計画の一部を関係資料のとおり変更し事業を実施したいので」とすること。
- 3 申請の際には以下の書類を添付すること。なお、事業計画書に添付したものから変更がない場合は省略することができる。
- (1) 外部へ委託する場合は、委託契約書
  - (2) その他交付決定者が必要とする書類
  - (3) 労働負担軽減経営体から申請のあった事業完了報告書(写し)
  - (4) 事業に要する経費の配分及び負担区分(別記様式第8号-1)
  - (5) その他中央畜産会が求める書類



事前検証状況

楽酪応援会議名：

No	労働負担 軽減経営体 の名称 (注1)	労働負担 軽減経営体 (又は構成 員) の所在地	導入機械装置		検証における確認成果等						検証 方法	備考 (注5)		
			機械装置名	数量	機械価格 (円、税抜)	機械導入前			機械導入後					
						経産牛 頭数	労働者 数 (注2)	1日あたり 総労働時間 (注3)	経産牛 頭数	労働者 数			1日あたり 総労働時間	1日あたり 総労働 時間の削 減率 (注4)
	会議計													

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働負担軽減経営体のみを、楽酪応援会議全体とされている場合は全構成員を記入する。

(注2) 労働者数については、フルタイム労働者を1とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって0～1の間の小数(第1位まで)を記入する。

(注3) 労働時間は、導入した機械に関係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。

(注4) 1日あたりの総労働時間削減率 = 1 - (機械導入後の1日あたり総労働時間 ÷ 機械導入前の1日あたり総労働時間)

(注5) 楽酪応援会議の中で、労働負担軽減経営体ごとに支払請求書が提出される場合には、備考欄に、労働負担軽減経営体の支払請求状況(今回請求分・既請求済分)を記入して下さい。

楽酪応援会議代表 殿

所在地  
法人名称又は氏名  
(法人の場合 代表者名)

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 実施状況報告書

令和〇年度 酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)について、酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)実施要領第13の1の規定に基づき、下記のとおりその実施状況報告する。

記

I 機械装置導入

1 導入方式：リース方式(又は購入方式)

2 対象機械装置・金額

(注) 機械装置名、数量、機械装置価格、消費税、補助金額等を記載する。

3 添付資料

(1) リース方式の場合

① 貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)及び借受書(写し)

② 対象機械装置の導入報告書(別記様式第9号-1)

(2) 購入方式

① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書(写し)

② 対象機械装置の導入報告書(別記様式第9号-1)

(3) その他必要な資料

II 機械装置導入と一体的な施設整備

1 施設整備の内容・金額

(注) 対象施設名、数量、施設整備費用、消費税、補助金額等を記載する。

2 添付資料

① 施設整備に係る契約書等(写し)

② 竣工検査調書(別記様式第9号-2)

③ その他必要な資料

補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細 (実施状況報告)

楽酪応援会議名:   
 労働負担軽減経営体名:

○総括表

N° ※1	機械装置		施設の整備				事業費全体			導入 方式 ※5
	機械装置名 ※2	機械価格 (税抜)	補助金額	単価 (/台・式) ※3	施設整備の 内容	事業費 (税抜)	補助金額	単価 (/㎡) ※4	事業費 (税抜)	
計										

- ※1 計画又は参加承認通知のあった機械ごとに採番して下さい。
- 2 機械装置ごとに記入して下さい。なお、施設整備の場合であっても、その対象となる機械装置の区分を記入して下さい。  
「搾乳ロボット」、「ミルクイングパパーラー」、「ミルクユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「ミルク自動離脱装置」、「自動給餌機」(濃厚飼料)、「自動給餌機」(濃厚・粗飼料)、「ほ乳ロボット(レール式)」、「自走式配餌車」、「パーンスクレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載。
- 3 「畜産業振興事業の実施について」の4の(2)の「コスト分析等による採択」で、コスト分析の対象機器に対し、基準額の範囲内であるか確認する必要があります。令和5年度全事業推進会議資料125頁の「基準額と比較する対象」を確認し、単価を記入して下さい。
- 4 「畜産業振興事業の実施について」の4の(2)の「コスト分析等による採択」で、施設整備のうち建築面積の増加部分に対し、基準額の範囲内であるか確認する必要があります。令和5年度全事業推進会議資料126頁の「基準額と比較する対象」を確認し、単価を記入して下さい。
- 5 「リース」又は「購入」を記載。

○本事業で導入した機械装置の詳細

N° ※1	補助対象 機械装置名 ※2	本体・付属 機器別区分 ※3	新品・中古 の区分 ※4	機械装置の 種類 ※5	法定耐用 年数 ※6	型式 ※7	製造番号 ※8	販売業者名	数量	機械価格 (税抜)	機械価格 (税込)	補助金額
	小計											
	小計											

- ※1 総括表の番号とあわせてください。
- 2 参加承認通知のあった機械ごとに記入して下さい。  
「搾乳ロボット」、「ミルクイングパパーラー」、「搾乳ユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「搾乳自動離脱装置」、「自動給餌機」(濃厚飼料)、「自動給餌機」(濃厚・粗飼料)、「ほ乳ロボット(レール式)」、「自走式配餌車」、「パーンスクレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載。
- 3 「本体」または「付属機器」かを記載
- 4 新品は「1」を、中古は「2」を記載する。なお、中古の場合は残存期間が2年以上の場合が対象となる。
- 5 本体は2と同じ種類を記載。付属機器は、「飼養管理システム」、「真空発生装置」、「サイレーンジストッカー」、「サイレーンエレベーター」、「サイレーンコンベア」、「定置式ミキサー」、「吊下レール」等を記載。
- 6 新品の場合は残存年数が法定耐用年数となる。中古の場合は法定耐用年数から経過年数を差し引いた期間を記載する。
- 7 型式等を記入。
- 8 本体、付属機器に限らず、製造番号のあるものは可能な限り記載して下さい。

## 対象機械装置の導入報告書

楽酪応援会議名：			
労働負担軽減経営体名	組織名：		
	代表者名：		
リース事業者※1	会社名：		
対象機械装置の名称			
製造メーカー名			
型式			
機械装置製造番号			
販売事業者等の名称※2			
対象機械装置の納入年月日			
貸付番号※3			
導入場所			
所見	申請内容と相違ないか		
	カタログどおりか		
	新品であるか		
	試運転の結果どうか		
	業者から取扱説明を受けたか		
備考			

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、  
購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

番 号  
年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森山裕殿

(楽酪応援会議)

(労働負担軽減経営体)

所在地

所在地

団体名

法人名称又は氏名

代表者の役職及び氏名

(法人の場合 代表者名)

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 竣工検査調書

補助対象施設について検査したところ、下記のとおり相違ありません。

記

1. 労働負担軽減経営体	
2. 工事名	
3. 工期	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
4. 請負者の住所、名称	
5. 事業費	
(1) 総事業費 (税込み)	円
(2) 総事業費 (税抜き)	円
(3) 補助対象経費 (税抜き)	円
(4) 補助対象経費 (税抜き)	円
(5) 機構補助金額	円
6. 補助対象施設整備	
(1) 施設名	
(2) 整備の概要	
7. 検査年月日	
8. 備考	

番 号  
年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森 山 裕 殿

(楽酪応援会議)  
所在地  
団体名  
代表者の役職及び氏名

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 事業実施状況報告書

酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)実施要領第13の2に基づき、事業の実施状況を報告します。

**【添付書類】**

- (1) 事業実施計画の承認(変更)申請時に添付した計画書に変更箇所を加筆し、変更前後の内容を反映した計画書
- (2) 労働負担軽減経営体より提出のあった、別記様式第9号「実施状況報告書」



番 号  
年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森 山 裕 殿

(楽酪応援会議)

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 事業成果報告書

令和 年 月 日付け 第 号で事業参加通知のあった酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)について、酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)実施要領第14の規定に基づき別紙(対象となる別紙の番号を記入)の「令和 年度酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)成果報告」を別添のとおり報告します。

【添付書類】

- ・別記様式第 1 1 号 - 別紙 1
- ・別記様式第 1 1 号 - 別紙 2 (購入方式による機械装置の導入及び施設整備を実施した場合)

令和 年度酪農緊急パワーアップ事業（酪農労働省力化対策事業）成果報告

楽酪応援会議名：

No	労働負担軽減経営体（又は構成員）の名称	労働負担軽減経営体（又は構成員）の所在地	導入機械装置			施設整備		検証における確認成果等						検証方法	備考	
			機械装置名	数量	機械価格（円、税抜）	補助対象	施設整備の内容	施設整備費（円、税抜）	機械導入前			機械導入後				
									経産牛頭数	労働者数	1日当たり総労働時間	経産牛頭数	労働者数			1日当たり総労働時間
	会議計															

- (注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働負担軽減経営体のみを、楽酪応援会議全体とされている場合は全構成員を記入
- (注2) 労働者数については、フルタイム労働者を1とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって0～1の間の小数（第1位まで）を記入する。
- (注3) 労働時間は、導入した機械に関係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。
- (注4)  $1日当たりの総労働時間削減率 = 1 - (機械導入後の1日あたり総労働時間 \div 機械導入前の1日あたり総労働時間)$
- (注5) 導入機械装置欄は、本事業による導入のほか、本事業による施設の整備を必要とする機械装置の導入についても記入する。





令和 年 月 日

設 計 確 認 書

公益社団法人中央畜産会  
会長 森 山 裕 殿

(建設業者)

株式会社 ××建築 △△△△

酪農緊急パワーアップ事業（酪農労働省力化対策事業）を活用し、〇〇〇〇（注）の牛舎において当社が実施した工事に関し、下記のとおり申し述べます。

（注）「〇〇〇〇（注）の牛舎」の〇〇〇〇には、酪農家の氏名又は法人名を記入して下さい。

記

- 1 工事により、延床面積は増加せず、増築には当たりません。
  - 2 工事の対象となった部分は、当該建築の「壁、柱、床、はり、屋根又は階段」（注）のいずれについても、過半数を占めるものではなく、大規模な模様替えには当たりません。
- （注） 建築物の構造上重要でない間仕切壁、間柱、付け柱、揚げ床、最下階の床、廻り舞台の柱、小ばり、ひさし、局部的な小階段、屋外階段その他これらに類する建築物の部分を除く。

(参考2)

別添1の別記様式第1号を事業用に修正した様式

番 年 月 日  
号 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森山裕殿

(労働負担軽減経営体)  
所在地  
法人名称又は氏名  
(法人の場合 代表者名)

### 入札結果報告・着工届

このことについて、下記のとおり入札の結果を報告し、着工を届け出ます。

#### 記

対象機械・施設等名 又は工事等の契約名	
施行方法	直営施行・請負施行・委託施行・代行施行
施工業者選定方法	一般競争入札・指名競争入札・ 代行施行における競争見積・随意契約
入札執行年月日	年 月 日
入札立会者の 所属・役職・氏名	
入札予定価格(税抜)	円
入札参加業者名及び 入札価格(税抜)	円
	円
	円
	円
入札執行回数	回
落札業者名(契約業者名)	
契約価格(税込)	円
着工住所	
着工年月日	年 月 日
完了予定年月日	年 月 日
工事監理者	
契約年月日	年 月 日
入札結果等の公表方法	
備考	年 月 日付け 第 号交付決定通知

#### 【本事業実施に当たっての注意】

補助対象機械装置の導入及び当該機械装置と一体的な施設の整備に関して購入先及び請負先の選定に当たって、3者以上の業者から見積もりを提出させた場合は、「入札」を「見積」に修正し、「見積合わせ結果」として作成・提出して下さい。

- 注) 1 「施行方法」欄及び「施工業者選定方法」欄は、該当するものを○で囲む。
- 2 「入札予定価格」欄は、未公表の場合「未公表」と記入する。  
ただし、不落札随意契約の場合は、必ず記入する。
- 3 「入札参加業者名及び入札価格」欄は、入札に参加した業者名を全て記入し、入札最終回に投じられた価格を記入する（途中棄権した業者がある場合は、当該業者の価格は空欄とする。）
- 4 不落札随意契約の場合は、「入札執行回数」欄は入札執行回数及び不落札随意契約である旨を、また、「落札業者名」欄は契約業者名を記入する。
- 5 「施工業者選定方法」が随意契約の場合は、「入札執行年月日」欄から「入札執行回数」欄までは記入不要とし、「落札業者名」欄に契約業者名を記入する。
- 6 「入札結果等の公表方法」欄は、入札結果の公表時期、公表方法等を記入する。
- 7 交付決定前に着工した場合、「備考」欄は「 年 月 日 第 号 交付決定前着工届」と記入する。
- 8 本報告・届出に際しては、工程表を添付すること。
- 9 事業が複数の契約からなる場合は、契約ごとに上表を整理すること。

(参考3)

別添1の別記様式第1号を事業用に修正した様式 (見積の場合)

番 年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森 山 裕 殿

(労働負担軽減経営体)  
所在地  
法人名称又は氏名  
(法人の場合 代表者名)

見 積 結 果 報 告 ・ 着 工 届

このことについて、下記のとおり見積の結果を報告し、着工を届け出ます。

記

対象機械・施設等名 又は工事等の契約名	
施 行 方 法	請負施行
施工業者選定方法	見積における随意契約
見積提出年月日	年 月 日
見積立会者の 所属・役職・氏名	
交付決定価格(税抜)	円
見積提出業者名及び 見積価格(税抜)	円
	円
	円
	円
落札業者名(契約業者名)	
契約価格(税込)	円
着 工 住 所	
着 工 年 月 日	年 月 日
完了予定年月日	年 月 日
工 事 監 理 者	
契 約 年 月 日	年 月 日
備 考	年 月 日付け 第 号交付決定通知

【本事業実施に当たっての注意】

- 注) 1 「見積提出業者名及び見積価格」欄は、見積書を提出した業者名を全て記入すること。
- 2 交付決定前に着工した場合、「備考」欄は「年 月 日 第 号交付決定前着工届」と記入する。
- 3 本報告・届出に際しては、工程表を添付すること。
- 4 事業が複数の契約からなる場合は、契約ごとに上表を整理すること。

(参考4)

事業名：令和○年度○○○○事業(○○○○)

応援会議名：○○○○畜産クラスター協議会

経営体名：株式会社○○○○農場

機械装置名：○○○○装置(型式：○○○○ 製造番号：○○○○)

【 】



【 】



【 】



【 】



【 】



【 】



※【 】内は何の写真か記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)  
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

事業名：令和〇年度〇〇〇〇事業(〇〇〇〇)

応援会議名：〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名：株式会社〇〇〇〇農場

工事名：〇〇〇〇牛舎〇〇室改修(増築)工事

写真張付け位置

【           】

---

---

---

---

---

---

---

---

写真張付け位置

【           】

---

---

---

---

---

---

---

---

写真張付け位置

【           】

---

---

---

---

---

---

---

---

※【   】内は工種を記載すること。

例：【主柱補強工事】、【基礎設備改修工事】等



## 記載例について

### 目 次

		頁
【楽酪GO事業】労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表	リース方式での機械装置を導入した場合	66
別記様式第7号	事業完了報告書	68
別記様式第8号	支払請求書	70
別紙1（別記様式第8号添付用）	支払請求書の提出状況	71
別紙2（別記様式第8号添付用）	事前検証状況	73
別記様式第9号	実施状況報告書	75
別紙（別記様式第9号添付用）	補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細（実施状況報告書）	77
別記様式第9号-1	対象機械装置の導入報告書	79
別記様式第9号-2	竣工検査調書	81
別記様式第10号	事業実施状況報告書	82
別紙（別記様式第10号添付用）	事業実施状況報告書の提出状況	83
別記様式第11号	事業成果報告書	85
別記様式第11号-別紙1	成果報告	86
別記様式第11号-別紙2	導入管理状況報告（購入方式）	87

楽酪応援会議に提出のあった月日	年 月 日
【楽酪GO事業】労働負	報告書提出書類 確認表

応援会議に提出されたら、必ず記入して下さい  
 提出書類が準備できたら、提出してください

リース方式での機械装置を導入した場合

No	提出書類	確認欄
1	事業完了報告書 (別記様式第7号)	<input type="checkbox"/>
(1)リース方式により機械装置を導入した場合		
2	①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)	<input type="checkbox"/>
3	②貸付機械装置に係る借受証(写し)	<input type="checkbox"/>
4	③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料 (機械装置ごとの銘板写真等) No.18の提出で添付不要	<input type="checkbox"/>
5	④納入当日の	<input type="checkbox"/>
6	⑤製造番号等	<input type="checkbox"/>
(2)施設整備を		
7	①施設の配置	<input type="checkbox"/>
8	②出来高設	<input type="checkbox"/>
9	③設計図(平)	<input type="checkbox"/>
10	④施設整備	<input type="checkbox"/>
11	⑤施行・納入	<input type="checkbox"/>
12	⑥竣工検査	<input type="checkbox"/>
13	⑦設計書に基 (工事前、工	写真 (写真等)
14	⑧建築確認 又は施工業	確認済書・検査済書
15	⑨(機械導入 リース契約	した場合)
16	⑩入札又は	三者の見積書(写し)
17	実施状況報告書 (別記様式第9号)	<input type="checkbox"/>
(1)リース方式による機械導入の場合		
18	①別紙 補助対象機械装置の詳細(実施状況報告) (別記様式第9号添付用)	<input type="checkbox"/>
19	②貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)、及び借受証(写し)	No.2及びNo.3の提出で添付不要
20	③対象機械装置の導入報告書 (別記様式第9号-1)	<input type="checkbox"/>
(2)機械装置導入と一体的な施設整備の場合		
21	①施設整備に係る契約書等(写し)	No.10の提出で添付不要
22	②竣工検査調書 (別記様式第9号-2)	<input type="checkbox"/>
23	【確認】事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか	<input type="checkbox"/>
24	AI・デ 経営体の申請者が自ら ドrawnに準拠した契約を行った 日	<input type="checkbox"/>

• No4、No19、No21及びNo24を除く提出書類ごとに準備ができた場合は、確認欄の☑(チェック)を行う。

• No4、No19、及びNo21の提出書類は代替資料が確認できた場合は、不要に○を付け確認欄に☑(チェック)を行う。

• NO24は、参加申請書提出確認表のNO6で「対象機械である」にチェックした経営体は必ず「対象機械名」「契約日」を記入し、確認欄に☑(チェック)を行う。

• これで、すべての確認欄に☑(チェック)ができましたら、完了報告書を提出して下さい。

必要な資料...表のチェックが終了しましたので、完了報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)

記入例

チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

リース方式による場合

No	提出書類		確認欄
1	事業完了報告書	(別記様式第7号)	<input checked="" type="checkbox"/>
(1)リース方式により機械装置を導入した場合			
2	①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)		<input checked="" type="checkbox"/>
3	②貸付機械装置に係る借受証(写し)		<input checked="" type="checkbox"/>
4	③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料 (機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)	No.18の提出で添付不要	<input checked="" type="checkbox"/>
5	④納入当日の撮影した機械装置の全景写真		<input checked="" type="checkbox"/>
6	⑤製造番号等の確認が可能な写真		<input checked="" type="checkbox"/>
(2)施設整備を実施した場合			
7	①施設の配置図		<input checked="" type="checkbox"/>
8	②出来高設計書		<input checked="" type="checkbox"/>
9	③設計図(平面図・立面図・工事箇所詳細図など)		<input checked="" type="checkbox"/>
10	④施設整備に係る契約書等(写し)		<input checked="" type="checkbox"/>
11	⑤施行・納入業者からの請求書(写し)		<input checked="" type="checkbox"/>
12	⑥竣工検査調書(別記様式第9号-2)(写し)		<input checked="" type="checkbox"/>
13	⑦設計書に基づく施設の整備であることが分かる写真 (工事前、工事中及び完了検査当日に撮影した写真等)		<input checked="" type="checkbox"/>
14	⑧建築確認及び確認検査の実施を証する書類(確認済書・検査済書) 又は施工業者等からの設計確認書		<input checked="" type="checkbox"/>
15	⑨(機械導入と施設整備をセットでリース契約をした場合) リース契約書(写し)・借受書(写し)		<input checked="" type="checkbox"/>
16	⑩入札又は三者見積合わせの結果報告書、及び三者の見積書(写し)		<input checked="" type="checkbox"/>
17	実施状況報告書	(別記様式第9号)	<input checked="" type="checkbox"/>
(1)リース方式による機械導入の場合			
18	①別紙 補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)	(別記様式第9号添付用)	<input checked="" type="checkbox"/>
19	②貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)、 及び借受証(写し)	No.2及びNo.3の提出で添付不要	<input checked="" type="checkbox"/>
20	③対象機械装置の導入報告書	(別記様式第9号-1)	<input checked="" type="checkbox"/>
(2)機械装置導入と一体的な施設整備の場合			
21	①施設整備に係る契約書等(写し)	No.10の提出で添付不要	<input checked="" type="checkbox"/>
22	②竣工検査調書	(別記様式第9号-2)	<input checked="" type="checkbox"/>
23	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか		<input checked="" type="checkbox"/>
24	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った		<input checked="" type="checkbox"/>
	機械装置名	A5 契約日	2020年12月15日

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、完了報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)

中畜 太郎

別記様式第7号

所属する楽酪応援会議の  
名称、代表者の役職・氏名  
を記載

神田酪農楽酪応援会議  
会長 明神 太郎 殿

番 号  
令和〇年12月31日

所在地 東都市外神田1-1-1  
法人名称又は氏名 酪農一  
(法人の場合 代表者名)

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 事業完了報告書

中央畜産会から楽酪応援会議に対する補助金の交付  
決定通知の年月日及び文書番号を記載  
※補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、  
併記して下さい

令和〇年度において、令和〇年10月10日付け〇年度発中畜第1002号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)実施要領第11の3の(1)の規定に基づき、下記のとおり報告する。

計画承認された施設整備、  
機械装置の内容ごとに記入  
計欄も記入して下さい。

記

事業費：税込の事業費を記入  
補助金：参加承認通知のあった補助金額  
その他：事業費－補助金

対象機械装置名 又は施設整備の内容	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
自動給餌機格納室増築	1式	4,400,000	2,000,000	2,400,000	
計		4,400,000	2,000,000	2,400,000	

## 2 添付資料

### (1) リース方式により機械装置を導入した場合

- ①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)
- ②貸付対象機械装置に係る借受書(写し)
- ③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)
- ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑤製造番号等の確認が可能な写真

### (2) 購入方式により機械装置を導入した場合

- ①対象機械装置に係る購入に係る購入契約書(写し)

- ②対象機械装置に係る購入に係る納入書、請求書（写し）
- ③対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）
- ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑤製造番号等の確認が可能な写真

(3) 施設整備を実施した場合

- ①施設の配置図、出来高設計書及び設計図
- ②施設整備に係る契約書等（写し）
- ③施行・納入業者からの請求書（写し）
- ④竣工検査調書（別記様式第9号-2）
- ⑤設計書に基づく施設の整備であることがわかる写真

⑥その他必要な資料

⑥のその他必要な資料は、現時点では次のとおりです。

- ・入札結果報告（又は見積もり合わせ結果）
- ・建築確認検査済書（又は設計確認書）
- ・（リース契約の場合）リース契約書

3 その他

A 機械装置のみ導入した場合

(1) 請求額 金 2,000,000円

(2) 振込先金融機関名  
支店名  
預金の種別  
口座番号  
預金の名義

秋野原農業協同組合  
神田坂支店  
普通  
0099900  
ラクノウ ハジメ

- 労働負担軽減経営体が楽酪応援会議から交付金を受領する口座を記入。
- リース方式の場合、直接リース事業者に支払いを希望する場合は、リース事業者の指定する口座を記載。
- 経営体に直接支払う場合は、「要望調査書」又は「参加申請書」に記載した経営主名（法人経営の場合は、法人名又は代表者名）と同じ名義の口座を記載すること。

※リース方式の場合においては、直接リース事業者合、振込先について、リース事業者の指定する振

B 機械装置及び施設整備を実施した場合

(1) 請求額 金 2,822,000円

(2) 振込先金融機関名

対象機械・施設整備内容	バースクレーパー(リース)	畜舎改修(購入)
金額	2,125,000円	697,000円
振込先金融機関名	すえひろ銀行	秋神原農業協同組合
支店名	本店	上神田支所
預金の種類	当座	普通
口座番号	〇〇111〇〇	〇〇〇888
預金の名義	(株)ホニューリース	チクサン マコト

公益社団法人中央畜産会  
会 長 森 山 裕 殿

(楽酪応援会議)

東都市神園 1 0 0 - 1  
神田酪農楽酪応援会議  
会 長 明 神 太 郎

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 支払請求書

中央畜産会から楽酪応援会議に対する補助金の交付決定通知の年月日及び文書番号を記載  
※補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、原則、併記して下さい

令和〇年度において、令和〇年 1 0 月 1 0 日付け〇年度発中畜第 1 0 0 2 号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）実施要領第 1 1 の 3 の（2）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

今回請求分で金額をあわせる

1 請求額 金 2, 0 0 0, 0 0 0 円

区 分	総事業費	補助金	その他	備考
楽酪応援会議推進事業				
機械装置導入及び機械装置と一体的な施設整備事業	4, 4 0 0, 0 0 0	2, 0 0 0, 0 0 0	2, 4 0 0, 0 0 0	労働負担軽減 経営体名：酪 農一
計	4, 4 0 0, 0 0 0	2, 0 0 0, 0 0 0	2, 4 0 0, 0 0 0	

労働負担軽減  
経営体名：酪  
農一

備考欄に請求対象の労働負担軽減経営体名を記載

2 振込先金融機関名  
支店名  
預金の種別  
口座番号  
預金の名義

別紙 1 のとおり

支払請求書の提出内訳

※別記様式第8号に本紙を添付して提出して下さい。

この欄は、交付決定額について記載して下さい。

業種の社会番号: \_\_\_\_\_

区分	機材設置		設備分		今回請求分		総額	
	機材費	補助金	機材費	補助金	機材費	補助金	機材費	補助金
承認済設備設置事業	0	0	0	0	0	0	0	0
承認済設備更新事業	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

○承認済設備更新事業  
 承認済設備更新事業  
 承認済設備更新事業  
 承認済設備更新事業  
 承認済設備更新事業

・計画又は参加承認通知された労働負担軽減経営体名を記載すること。

・計画又は参加承認通知された補助対象機材設置ごとに記載すること。  
 ・施設整備の場合であっても記載すること。

一つの経営体で、機材設置はリース方式、施設整備は購入方式で事業を実施した場合は、それぞれの支払先が明確になるように支払先・機材先の項目をそれぞれ記載して下さい。

承認済設備の口座  
 ※リース契約の場合はリース会社の口座

区分	機材設置 機材名 機材型名 機材体名 機材番号 機材の名称	機材設置 単価 単価 単価 単価	機材の整備 事業費 (総額)	単価 (/㎡)	事業費全体		納入 方式 ※3	支払先 ※4	機材先		設備 番号	
					事業費 (総額)	補助金額			支払先 支店名	口座番号		設備区分 対象者
1	承認済設備更新事業	0	0	0	0	0	リース 事業者	リース 事業者	現金の口座 振込	0000000	0	0
2	承認済設備更新事業	0	0	0	0	0	購入 事業者	株式会社 〇〇〇〇〇	現金の口座 振込	1000000	0	0
計		0	0	0	0	0					0	0

「施設整備の内容」欄は、「〇〇牛舎の補改修」とか「〇〇牛舎の増築」とか内容が分かりやすいように記載して下さい。  
 (「更新」という内容は、補助対象となりませんので、記載しないでください。)

・「〇〇牛舎の増築」のように増築に該当する場合は、右の「単価 (/㎡)」を必ず記載して下さい。

・ 単価欄には、コスト分析対象となっている機材設置については、単価を必ず記載して下さい。また、コスト分析対象外の機材設置は「-」を記載して下さい。

・ なお、搾乳ロボットのロータリー、つなぎ式などの場合は、機材設置名の中に「搾乳ロボット(つなぎ式)」のように記載して下さい。

対象となる機材設置の区分を記入して下さい。  
 「搾乳ユニット搬送レール手動」、「ミルクカー自動搬送装置」、「クレーパー」、「飲料搬送機」のいずれかを記載。

複数回分けて報告する場合、  
 事業年度状況報告の提出回数  
 ごとに記入

承認済設備、同じく契約したリース事業者の口座の場合は「リース事業者」と記載し、右にその口座名を記入する。

記入例

支払請求書の提出内訳

業種名: 明神薬膳炊立会館

〇支払決定

区分	標準支払	補助金	前年度交付		今回請求分		差額	
			標準支払	補助金	標準支払	補助金	標準支払	補助金
標準支払の納入済み額(標準額)と一時的に超過請求額	37,400,000	17,000,000	0	0	37,400,000	17,000,000	0	0

〇業種標準額納入標準の請求内訳

区分 No ※1	業種標準額 ※3	標準支払		業種の差額		標準全体				支払 ※5	振込先				今年 請求 対象者	今年 請求 対象者
		標準支払	補助金	標準支払	補助金	標準(円)	標準(円)	標準(円)	補助金		標準(円)	補助金	標準(円)	補助金		
1 標準 -	自動振替 額	0	0	自動振替額 振込先 の増減	4,000,000	2,000,000	35,900	4,000,000	2,000,000	振入	明神薬膳 炊立会館	本店	普通	1000000	明神薬膳 炊立会館 標準額	0
2 明神 明	自動振替 額	10,000,000	5,000,000	10,000,000	0	0	10,000,000	11,000,000	5,000,000	リース	あかさ さ銀行	高心 さき 店	当座	1234567	71177-2	
	標準工 二六 レム自 費	14,000,000	7,000,000	1,450,000	6,000,000	3,000,000	14,000,000	15,400,000	7,000,000	リース	明神薬膳 炊立会館	本店	普通	9999999	明神薬膳 炊立会館 標準額	0
			0	標準工の 増減分	6,000,000	3,000,000	6,000,000	6,000,000	3,000,000	振入	明神薬膳 炊立会館	本店	普通	1000000	明神薬膳 炊立会館 標準額	
計		24,000,000	12,000,000	11,450,000	10,000,000	5,000,000	34,000,000	27,400,000	17,000,000							





所属する楽酪応援会議の  
名称、代表者の役職・氏名  
を記載

神田酪農楽酪応援会議  
会長 明神 太郎 殿

所在地 東都市外神田1-1-1  
法人名称又は氏名 酪農一  
(法人の場合 代表者名)

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 実施状況報告書

令和〇年度 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施要領第13の1の規定に基づき、下記のとおりその実施状況報告する。

記

I 機械装置導入

1 導入方式: **リース方式**

リース方式の場合は「リース方式」、購入方式の場合は「購入方式」と記載して下さい

2 対象機械装置・金額

**別紙のとおり**

(注) 機械装置名、数量、機械装置価格、消費税、補助金額等を記載する。

3 添付資料

(1) リース

① 貸付状

② 対象機械装置の導入報告書(別記様式第9号-1)

(2) 購入方式

① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書(写し)

「別紙のとおり」と記載の上、別紙(別記様式第9号添付用)「施設整備、機械装置の詳細(実施状況報告)」を作成し、添付して下さい。

- ② 対象機械装置の導入報告書（別記様式第9号-1）
- (3) その他必要な資料

## II 機械装置導入と一体的な施設整備

### 1 施設整備の内容・金額

別紙のとおり

(注) 対象施設名、数量、施設整備費用、消費税、補助金額等を記載する。

「別紙のとおり」と記載の上、別紙（別記様式第9号添付用）  
「施設整備、機械装置の詳細（実施状況報告）」を作成し、  
添付して下さい。

### 2 添付資料

- ① 施設整備に関する契約書等（あり）
- ② 竣工検査調書（別記様式第9号-2）
- ③ その他必要な資料



記入例

対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細(実施状況報告)

委託会議名: 神田酪農産物処理協議会

労働負担軽減経営体名: 明神 明

○総括表

No ※1	機械装置名 ※3	機械装置			施設の整備				事業費全体			導入 方式 ※4
		事業費 (税抜)	補助金額	単価	施設整備の内 容 ※6	事業費 (税抜)	補助金額	単価 (/m)	事業費 (税抜)	事業費 (税込)	補助金額	
1	自動給餌機	10,000,000	5,000,000	10,000,000				10,000,000	11,000,000	5,000,000	リース	
2	搾乳ユニット搬 送しール自動	14,000,000	7,000,000	1,450,000	搾乳室の補改 修			14,000,000	15,400,000	7,000,000	リース	
3						3,000,000		6,000,000	6,600,000	3,000,000	購入	
計		24,000,000	12,000,000			3,000,000		30,000,000	33,000,000	15,000,000		

○本事業で導入した機械装置の詳細

No ※1	補助対象 機械装置名 ※2	本体・付属機 器別区分 ※3	新品・中古の区 分 ※4	機械装置の種類 ※5	法 名 用 年 数 ※6	型 式 ※7	製造番号 ※8	販売業者名	数量	事業費 (税抜)	事業費 (税込)	補助金額
1	自動給餌機	本体	1	自動給餌機	7	FMA16	556645545	(株)チュウチク	1	8,000,000		
		付属機器	1	サイレージエレベ ーター	7	FC95	55-55-HH	(株)チュウチク	1	500,000	11,000,000	5,000,000
		付属機器	1	定置式ミキサー	7	5150ST	545454	(株)チュウチク	1	1,500,000		
		小計								10,000,000		
2	搾乳ユニット搬 送しール自動	本体	1	搾乳ユニット搬送し ール自動搬送	7	UCA30A	99589	中部オリオン(株)	1	6,000,000		
		付属機器	1	乳量計付自動搬送 装置	7	MMD500	55-5481, 55-5482, 55-5483, 55-5484, 55-5485, 55-5486, 55-5487, 55-5488	中部オリオン(株)	8	4,000,000	15,400,000	7,000,000
		付属機器	1	パイプラインミルク カー	7	PMH64SJ	P656345	中部オリオン(株)	1	4,000,000		
		小計								14,000,000		

※1 総括表の番号とあわせてください。

本様式は、「本事業で機械装置を導入した場合」に作成し、提出して下さい。

別記様式第9号-1

対象機械装置の導入報告書

楽酪応援会議名：		所属する楽酪応援会議の正式名称を記載。	
労働負担軽減経営体名	組織名：	法人経営の場合、法人名(参加申請者名)を記入	
	代表者名：	個人経営の場合：経営主(参加申請者名)、法人経営の場合：代表者名を記入	
リース事業者※1	会社名：		
リース会社名			
対象機械装置の名称			
製造メーカー名			
型式			
機械装置製造番号			
販売事業者等の名称※2			
対象機械装置の納入年月日		借受書の検査完了日又は検収日を記入	
貸付番号※3		機械の契約番号、リース番号又は貸付番号を記入	
導入場所			
所見	申請内容と相違ないか		
	カタログどおりか		
	新品であるか		
	試運転の結果どうか		
	業者から取扱説明を受けたか		
備考			

参加申請書(別記様式第4号-1別紙1又は第3号-1別紙1)と同じ内容

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。  
 ※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、購入方式の場合は記載しない。  
 ※3 購入方式の場合は、記載しない。

本事業で計画又は参加承認通知のあった機械装置の種類ごとに入力

- ・搾乳ロボット
- ・搾乳ユニット搬送レール自動
- ・ミルカー自動離脱装置
- ・「自動給餌機」(濃厚・粗飼料)
- ・自走式配餌車
- ・敷料散布機
- ・ミルクングバーラー
- ・搾乳ユニット搬送レール手動
- ・自動給餌機(濃厚飼料)
- ・ほ乳ロボット(レール式)
- ・パンスクレーパー

あわせて、別紙「補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細(実施状況報告)」を作成し、添付して下さい

## 記入例

## 対象機械装置の導入報告書

本様式は、「本事業で機械装置を導入した場合」に作成し、提出して下さい。

楽酪応援会議名：神田酪農楽酪応援会議				
労働負担軽減経営体名	組織名：			
	代表者名：	明神 明		
リース事業者※1	会社名：	○△リース株式会社		
対象機械装置の名称	自動給餌機	搾乳ユニット搬送 レール自動搬送	ミルクカー 装置	
製造メーカー名	オリオン機械(株)	オリオン機械(株)	オリオン機械(株)	
型式	FMA16	UCA30A	MMD500	
機械装置製造番号	556645545	99589	21k19006 21k19007 21k19008 21k19009 21k19010 21k19011	
販売事業者等の名称※2	(株)チュウテク	中部オリオン(株)	中部オリオン(株)	
対象機械装置の納入年月日	令和○年12月20日	令和○年12月5日	令和○年12月5日	
貸付番号※3	○△H55-56	○△H55-55	○△H55-55	
導入場所	○県●●町●松55	○県●●町●松55	○県●●町●松55	
所見	申請内容と相違ないか	相異なし	相異なし	相異なし
	カタログどおりか	カタログどおり	カタログどおり	カタログどおり
	新品であるか	新品	新品	新品
	試運転の結果どうか	良好	良好	良好
	業者から取扱説明を受けたか	受けた	受けた	受けた
備考				

公益社団法人中央畜産会  
会長 森山 裕 殿

(楽酪応援会議)

東都市神園100-1  
神田酪農楽酪応援会議  
会長 明神 太郎

(労働負担軽減経営体)

東都市外神田1-1-1  
酪農 一令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 竣工検査調書

補助対象施設について検査したところ、下記のとおり相違ありません。

## 記

1. 労働負担軽減経営体	酪農 一
2. 工事名	自動給餌機格納室の増築
3. 工期	令和〇年11月1日～令和〇年12月10日
4. 請負者の住所、名称	東都市東町5-100 凹凸工業株式会社
5. 事業費	
(1) 総事業費(税込み)	4,320,000 円
(2) 総事業費(税抜き)	4,000,000 円
(3) 補助対象経費(税込み)	4,320,000 円
(4) 補助対象経費(税抜き)	4,000,000 円
(5) 機構補助金額	2,000,000 円
6. 補助対象施設整備	
(1) 施設名	搾乳牛舎
(2) 整備の概要	自動給餌機格納室の増築
7. 検査年月日	令和〇年12月20日
8. 備考	

別記様式第10号

記入例

番 号  
令和〇年12月31日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森山 裕 殿

(楽酪応援会議)

東都市神園100-1  
神田酪農楽酪応援会議  
会長 明神 太郎

令和〇年度酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 事業実施状況報告書

酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)実施要領第13の2  
に基づき、事業の実施状況を報告します。

【添付書類】

- (1) 事業実施計画の承認(変更)申請時に添付した計画書に変更箇所を加筆し、変更前後の内容を反映した計画書
- (2) 労働負担軽減経営体より提出のあった、別記様式第9号「実施状況報告書」

状況報告書の提出状況

※別記様式第10号に本紙を添付して提出して下さい。  
 (本内容は、別紙1(別記様式第8号添付用)の「機械装置導入  
 事業の請求内容」を参考に記載して下さい。)

・計画又は参加承認通知された労働負担軽減経営体名を記載

・計画又は参加承認通知された補助対象機械装置ごとに記載  
 ・施設整備の場合にあっても記載する

経営体 No ※1	労働負担 軽減 経営体名 ※2	機械装置		施設の整備		事業費全体			導入 方式 ※4	実施状況報告提出年月日 ※5										
		事業費 (税抜)	補助金額	単価 (/m)	事業費 (税抜)	補助金額	事業費 (税込)	補助金額		O/O (※0 回)	O/O (※0回)	O/O (※0回)								
1																				
2																				
3																				
	計		0																	

複数回分けて報告する場合  
 事業実施状況報告の提出  
 回数ごとに記入

※1 労働負担軽減経営体ごとに振替する。  
 2 機械  
 「控  
 (減  
 3 「基  
 「  
 4 1 2  
 5 実施状況報告書の提出状況

単価欄には、コスト分析対象となっている機械装置につ  
 いては、単価を必ず記入して下さい。また、コスト分析対  
 象外の機械装置は「-」を記載して下さい。

・「施設整備の内容」欄は、「〇〇牛舎の補改修」と  
 か「〇〇牛舎の増築」とか内容が分かりやすいように  
 記載して下さい。  
 ・増築に該当する場合は、右の「単価(/m)」を必ず記  
 載してください。

「自動給餌機」  
 添付料 1 2 5 頁の  
 畜産推進会議資料



中央畜産会の長 殿

楽酪応援会議が、事業実施時の楽酪応援会議の名称が変更のあった場合は、団体名を二段書きとし、上段に現在の団体名を、下段に括弧書きで記入して下さい。所在地及び代表者の役職及び氏名は現在の団体のものを記入して下さい。

(楽酪応援会議)  
所在地  
団体名  
代表者の役職及び氏名 印

令和 年度 酪農緊急パワーアップ事業  
(酪農労働省力化対策事業) 事業成果報告書

令和〇年〇月〇日付け〇第〇号で事業参加通知のあった酪農緊急パワーアップ事業（酪農労働省力化対策事業）について、酪農緊急緊急パワーアップ事業（酪農労働省力化対策事業）実施要領第14の規定に基づき別紙（対象となる別紙の番号を記入）の「令和〇〇年度酪農緊急パワーアップ事業（酪農労働省力化対策事業）成果報告」を別添のとおり報告します。

【添付書類】

- ・別記様式第11号
- ・別記様式第11号

添付資料が  
別紙1だけの場合は、別紙1と記入し、  
別紙1と別紙2の場合は、別紙1及び別紙2と  
記入して下さい。 備を実施した場合)

同年度に畜産ICT事業と楽酪GO事業を実施している場合は、畜産ICT事業事業成果報告書を提出しても、楽酪GO事業事業成果報告書も提出して下さい。





## (参考5)

### 楽酪GO事業における成果検証の考え方について

本事業における成果目標の設定に当たっては、全国的に統一的な手法として、「削減が期待される年間労働時間の考え方」により試算された各労働負担軽減経営体の削減労働時間を使用し、応援会議全体として削減目標を作成していただいております。

なお、応援会議は、労働時間の削減率(10%以上低減)を目標設定することとされています。

一方、成果報告に当たっては、実際の削減効果を測る必要があることから、実施計画に記載された経営体の実態を個別に検証する必要があります。

#### 1 検証の対象

本事業では、削減効果を確認するため、労働負担軽減経営体における事業実施前後の労働時間(1人あたりの年間労働時間)を検証していただきます。

なお、検証は労働負担軽減経営体における総労働時間となります。

#### 2 検証にあたっての留意点

##### (1) 検証方法

① 具体的な労働時間の測定方法については、各応援会議において任意としますが、以下のような方法が考えられます。

○ 作業日誌等を用いた労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく検証

○ 多数の従業員が、分業制、シフト勤務制、定時の休憩時間制などにより勤務している場合に、タイムカード等の勤怠管理資料による検証

○ 地域の支援機関、外部コンサルタントなど活用した第三者による調査

② 検証方法は①に限るものではありませんが、第三者に対し、測定方法の客観性や妥当性が説明できる方法としてください。また、どのような検証を行う場合においても、各応援会議内において、原則、統一的な検証方法として下さい。

##### (2) 検証時期・期間

① 検証時期(機械装置導入後の労働時間の測定時期)は各応援会議における任意としますが、業実施前後の比較が可能なよう、機械装置導入前の測定時期と翌年同時期に行ってください。

② 測定期間は、導入する機械装置の種類・機能、さらには飼養頭数などを考慮し設定することとし、一定期間(1週間以上)、作業日誌等を記録してください。

また、分娩監視装置や発情発見装置の効果検証は、1週間の記録では不十分な場合もあるため、監視対象となる牛が複数頭現れる期間の労働時間を継続して測定する、又は、1頭当たりの監視に要する時間を計測し、年間の監視時間を推定する等により、装置の導入効果を検証してください。

### (3) 検証記録の保管

成果の検証に用いた作業日誌等資料については、応援会議において保管して下さい。

なお、保管期間は、「帳簿等の整備保管等」において示されている期間と同期間保管して下さい。

### 3 (参考) 作業日誌を用いた検証方法の例

以下に、労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく調査方法の例を示します。

(なお、あくまでもこの調査方法は例示であり、実際の調査方法についてはこの限りではありません)

#### 方法1 作業日誌(日報方式)を活用した検証方法の例

##### (1) 概要

あらかじめ連続した測定期間(○日間)を決め、1日当たり1枚の作業日誌(日報方式)に記録記帳。測定した日数(記録記帳した日誌の枚数)分の労働時間から1日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

##### (2) 様式例

作業日誌A(日報方式:例)

##### (3) 作業日誌の記録方法【様式例:作業日誌A(日報方式)】

- ① 経営体名、測定期間(○月○日~○月○日)、従事者名等を入力
- ② ①について、測定日数分の枚数をコピー。
- ③ 測定日ごとに、作業内容毎に労働時間帯を記録(網掛け)し、1日当たりの作業時間を記入。
- ④ 1日の終了時に、1日当たり労働時間の計を算出。

##### (4) 年間労働時間の推定

- ① 測定期間の労働時間=記録記帳した作業日誌(日報方式)の労働時間の和
- ② 1日当たり標準労働時間=①÷測定日数(日報の枚数)
- ③ 年間総労働時間=②×365日

#### 方法2 作業日誌(月報方式)を活用した検証方法の例

##### (1) 概要

あらかじめ検証月を決め、作業区分ごとに測定した日のみ作業時間を記録記帳。これを基に1日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

##### (2) 様式例

作業日誌B(月報方式:例)

##### (3) 作業日誌の記録方法

- ① 測定年月(○年○月)、作業区分毎の従事者名を入力。
- ② 作業区分毎に測定日を決め、その測定日に作業区分かつ作業者の時間を入力。
- ③ 集計欄を用いて、1日当たり標準労働時間を計算。

##### (4) 年間労働時間の推定

年間総労働時間

＝作業日報（月報方式）に基づく1日当たり標準労働時間×365日

#### 4 事業成果報告の提出

実施要領別紙11の第3の2の（1）に基づき、応援会議は、事業実施翌年度に検証した結果を、別添13の事業実施報告書により、事業実施の翌々年度の6月末までに、事業実施主体に報告することとなっています。

具体的には、事業実施年度の支払請求書に添付書類別紙2（別添17添付用）「事前検証状況」の機械導入前の検証値が、事業実施翌年度の機械導入後の検証値を記入し、1日当たり総労働時間の削減率を確認し、その成果を確認するものであります。



# 作業日誌 B (月報方式:例)

測定年月 △△年△△月

経営体名

作業区分	作業者名	雇用区分 ※該当に○	測定日																															集計欄		備考			
			※測定した日に時間を10進法で記入(3時間30分の場合⇒3.5と入力)																															測定 日数	測定労働 時間計		1日あたり 標準労働時間		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
搾乳		家族・常雇・臨時雇																																		0	0.0		
		家族・常雇・臨時雇																																	0	0			
		家族・常雇・臨時雇																																	0	0			
		家族・常雇・臨時雇																																	0	0			
		家族・常雇・臨時雇																																	0	0			
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!		
飼料 給与		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!		
家畜 飼養 管理		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!		
飼料 生産		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!		
ふん尿 処理		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!		
その他		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
		家族・常雇・臨時雇																																					
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!		
	計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!	

